

取扱説明書

AtmosAir Velaris (アトモスエア・ベラリス)

Hybrid mattress system





警告

けがを防止するため、製品を使用する前に必ず本取扱説明書および付属の文書をよくお読みください。

デザインポリシーと著作権

®および™はArjoグループ企業の商標です。

© Arjo 2024

当社は継続的な改善をポリシーとしているため、予告なく設計・デザインを変更する場合があります。本書の内容の全部または一部をArjoの同意なしに複製する事は禁じられています。

目次

はじめに	5
使用目的	6
安全に関する注意事項	8
準備	10
部品名称	11
交互圧力ポンプ	11
コントロールパネル	11
Standard / Plus マットレス	12
Plus Flex マットレス、ボルスター付き	13
ストレッチャー (ST) マットレス	14
シートクッション	15
コントロールパネル	16
運転/スタンバイボタンとインジケータ	16
ロックボタンとライト	16
音声オフライト	16
体重選択ボタンとライト	16
音声アラーム一時停止ボタンとライト	17
システム障害ライト	17
低圧アラームライト	17
Skin IQ ライト	17
製品説明 - 交互圧力ポンプ	18
リピーターライト	18
吊り下げフック	18
電源コード	18
日中/夜間モード	18
Skin IQ ポート	18
音声オン/オフスイッチ	18
製品の説明 - マットレスとシートクッション	19
すべてのタイプのマットレス	19
Standard / Plus マットレスのタイプ	19
Plus Flex マットレス、ボルスター付き	20
シートクッション	20
静止 (リアクティブ) セラピーおよび圧切替 (アクティブ) セラピー	21
静止 (リアクティブ) セラピー	21
圧切替 (アクティブ) セラピー	21
システムの起動	21
ハイブリッドマットレスシステムの組み立て	22
Standard および Plus マットレスの組み立て	22
ポンプの組み立て	22

Plus Flex マットレスとボルスターの組み立て	24
搬送モード	26
患者がベッドから離れる場合	26
ハイブリッドマットレスシステムの分解	27
ポンプの電源オフと取り外し	27
Plus Flex の解体	27
ポンプの保管	28
ストレッチャー（ST）マットレスの組み立て	29
シートクッションの組み立て	30
在宅での使用	31
清掃と消毒	32
点検・メンテナンス	36
トラブルシューティングとアラーム	38
技術仕様	39
ラベル	43
電磁両立性	47

はじめに

AtmosAir Velaris® ハイブリッドマットレスシステムをお選びいただきありがとうございます。
ご理解をいたします。

お問い合わせ先について

本製品また、その他のArjo製品およびサービスに関するご質問は、ArjoまたはArjo正規代理店にお問い合わせいただくか、www.arjo.comをご覧ください。

製品をご使用になる前に、本取扱説明書をお読みください。

本取扱説明書に記載されている情報は、製品の適切な操作と保守を行う上で欠かせないものです。製品を保護し、ご満足いただける性能を得るためにお役立てください。本取扱説明書に記載されている情報は、お客様の安全のために重要です。人身事故を防ぐためにも、本取扱説明書を良く読みご理解ください。Arjo機器に対する承認を受けていない改造は、機器の安全性と性能を損なう恐れがあります。Arjoは、製品の改造に起因する事故または事象に対する一切の責任を負いません。

サービスとサポート

製品の安全性と信頼性を維持するためには、毎回の使用前または1週間ごと(長期的ケアの場合)の定期的なメンテナンスが必要です。詳細については、「点検・保守および予防的メンテナンス」を参照してください。詳細情報または交換部品については、「お問い合わせ先について」を参照してください。

重大なインシデント

本機器に関連してユーザーまたは患者に影響する重大インシデントが発生した場合、ユーザーまたは患者は、機器メーカーまたは販売元にその重大インシデントを報告する必要があります。また欧州連合(EU)では、ユーザーが所在する加盟国の所轄庁に重大な事故が発生したことを報告する必要があります。

本取扱説明書における定義

警告

警告の意味：安全上の警告この警告の内容に従わなかった場合には、けがを引き起こす危険性がありますのでご注意ください。

注意

注意の意味：取扱説明書に従わなかった場合、システムまたは機器の全体あるいは一部に損傷が発生する恐れがあります。

注記

注記の意味:システムまたは機器の正しい使用方法に関する重要な情報です。

使用目的

AtmosAir Velarisハイブリッドマットレスシステムは、¹急性期ケア、長期ケア、および個人宅を含む在宅ケア施設の介助者が使用することを想定しています。

ハイブリッドマットレスシステムは、褥瘡の予防と管理を目的として設計されています。個別の包括的な褥瘡プロトコルの一部として使用してください。これには通常、体位変換、栄養サポート、スキンケアが含まれます。マットレスは、患者のニーズを十分に評価した上で選択する必要があります。

ハイブリッドマットレスシステムは、褥瘡管理プロトコルの一部です。その他のケアについては、医療従事者による検討が必要です。既存の傷が改善しない場合、または患者の状態が変化した場合は、全体的な治療計画を医療専門家が再検討する必要があります。

指針として、システムを非電動のリアクティブモードで使用する場合は、褥瘡の「リスクがある」と判断された患者に使用します。本システムをポンプと併用する場合、「リスクプロファイルが高い」患者を検討対象に含めることができます。²

Velaris Standard マットレス、Plus および Plus Flex は、すべて Velaris ポンプと併用して、リアクティブセラピーからアクティブセラピーへのステップアップが可能です。

Velaris ストレッチャーとシートクッションはリアクティブセラピーにのみ使用し、Velaris ポンプと併用することはできません。

上記は、あくまでガイドラインであり、臨床判断に置き換わるものではありません。

Standard マットレスシステムは、体重40 kg (90 lb)~250 kg (550 lb) の患者用です。最大 454 kg (1000 lb) までの、体重が重い患者には、Plus または Plus Flex (肥満患者用) マットレスシステムを使用してください。

ハイブリッドマットレスシステムは、本取扱説明書で指定された用途にのみ使用してください。それ以外の使用は禁止します。

Plus および Plus Flex マットレスシステムは Citadel Plus ベッドフレームとのみ併用できます。Citadel Plus ベッドフレームは、在宅ケア用ではありません。

1 この機器を操作する医療従事者または一般の人が、介助者となることができます。

2 *European Pressure Ulcer Advisory Panel, National Pressure Injury Advisory Panel and Pan Pacific Pressure Injury Alliance. Prevention and Treatment of Pressure Ulcers/Injuries: Clinical Practice Guideline. The International Guideline. Emily Haesler (Ed). EPUAP/NPIAP/PPPIA:2019, Chapter 4 Risk Factors and Risk Assessment*

禁忌

ポンプを使用する電動交互モードでは、ハイブリッドマットレスシステムを、不安定な頸部、胸部、および／または腰部の骨折のある患者、頸部牽引、骨格牽引を行っている患者に使用しないでください。マットレスが動くことで合併症を招く可能性のあるその他の症状のある患者には、ハイブリッドマットレスシステムを使用しないでください。

ポンプを使用しない非電動リアクティブモードでは、医療従事者が適当であると判断した場合、不安定な頸部、胸部、腰部の骨折のある患者、頸部牽引、骨格牽引を行っている患者にマットレスを使用することが可能です。その場合も、患者の継続的な評価とモニタリングを行うことを推奨します。

患者の評価

施設には、定期的な評価ルーチンの策定が求められます。介助者は、製品を使用する前に各患者を評価してください。患者の体重は以下を超えてはいけません。

- Standard マットレスの場合、250 kg (550 lb)
- Plus (肥満患者用) マットレスの場合、454 kg(1000 lb)
- Plus Flex (肥満患者用) マットレス (取り外し可能なボルスター付き) の場合、454 kg (1000 lb)
- ストレッチャー (ST) マットレスの場合、250 kg (550 lb)
- シートクッションの場合、250 kg (550 lb)

患者が上記の基準に適合しない場合は、別の機器/システムをご利用ください。

想定する使用期間

AtmosAir Velaris システム構成要素の想定耐用期間は、次のとおりです。

- マットレス -5年間
- シートクッション -5年間
- ポンプ -7年間

本製品の想定耐用期間は、取扱説明書に記載されているお手入れとメンテナンスの手順に基づいて予防的メンテナンスが実施されていることを前提としています。

安全に関する注意事項



警告

つまずきや巻き込みの危険を避けるため、電源コードは常に適切に管理してください。



警告

ポンプの使用中は、保守やメンテナンスを行わないでください。



警告

事故を避けるため、主電源のソケットとプラグには常にアクセスできるようにしてください。プラグをコンセントから抜くことで、ポンプの電源を安全に切ることができます。



警告

転倒や人身事故を防ぐため、ケーブルやチューブセットが正しい位置にあることを確認してください。ケーブルをベッドの可動部品やその他の挟み込みの可能性のある場所から遠ざけてください。



警告

褥瘡を予防するため、ハイブリッドマットレスシステムが正しく組み立てられていることを確認してください。



警告

褥瘡を防ぐため、患者には、しわ、継ぎ目などが原因で局所的な高圧領域を引き起こす可能性のある衣服を着用させないでください。同じ理由により、ポケット内に物を入れないようにしてください。



警告

人身事故を防ぐため、マットレスやSTマットレスを患者の移動装置として使用しないでください。



警告

マットレスの性能低下を避けるため、患者とマットレスの間に余分な層を作らないでください。



警告

人身事故や製品により生じる危険を避けるため、承認されていないアクセサリーを使用したり、ハイブリッドマットレスシステムを改造、分解、または本来の目的外の用途で使用したりしないでください。

注意

機器の破損を防ぐため、ハイブリッドマットレスシステムの上または下やブランケットの下に鋭利なものや電氣的に熱を発するものを使用しないでください。

注意

損傷を防ぐため、タバコなどの裸火を機器に近づけないでください。これは、マットレスを扱う上で特に重要です。マットレス (Standard / Plus) に漏れがあると、火災が拡大する恐れがあります。

CPR

CPRは、現地のプロトコル（ベッドの水平調整、ポンプの取り外し、サイドレールの下降）に従って直ちに開始することができます。

準備

ベッドフレームの推奨事項

本マットレスシリーズは、Arjoベッドフレームで使用するよう設計されています。本取扱説明書の「技術仕様ページの39」を参照してください。Standard、ストレッチャー(ST)は、他のベッドフレームやトロリー (非 Arjo 製品) でも使用できます。

Plus マットレスと Plus Flex マットレスは、必ず Arjo Citadel Plus ベッドフレームと併用してください。

医師または介助者は、ニーズを評価し、使用するマットレスとベッドフレームを決定します。対応するマットレスのサイズについては、ベッドフレームの取扱説明書を参照してください。すべてのマットレスの寸法は「測定値および互換性 ページ40」で確認できます。

初回ご使用前

1. 梱包内容に損傷がないか、目視で確認します。梱包が破損している場合は、運送会社に連絡してください。この製品を使用しないでください。
2. 本取扱説明書を必ずお読みください。
3. 製品の部品がすべて揃っているか確認してください。「部品名称ページの11」の記載内容と比較します。不足または損傷している部品がある場合、本製品を使用しないでください。
4. 梱包材は地方自治体の法令に従ってリサイクルしてください。
5. 本取扱説明書がいつでも容易に参照できるように、指定場所に保管してください。

毎回の使用前に

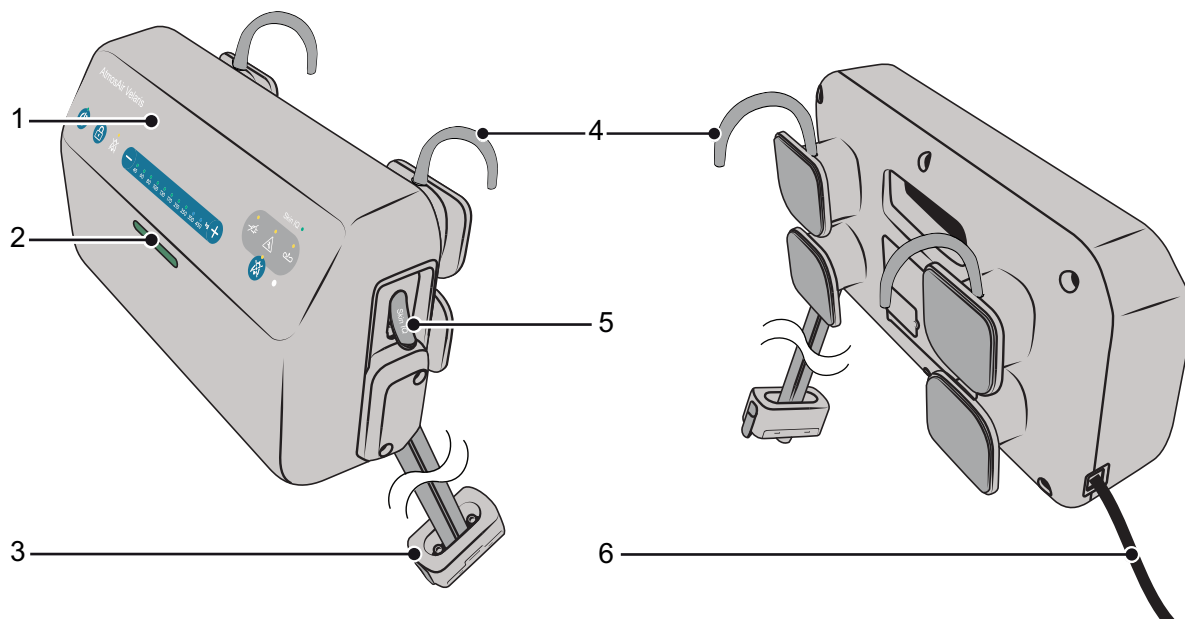
「点検・メンテナンス ページ36」の手順に従って、ハイブリッドマットレスシステムを点検します。破損した部品がある場合は、本製品を使用しないでください。

各患者の使用後

各患者の使用後、「清掃と消毒 ページ32」の手順に従い、本製品を洗浄・消毒してください。

部品名称

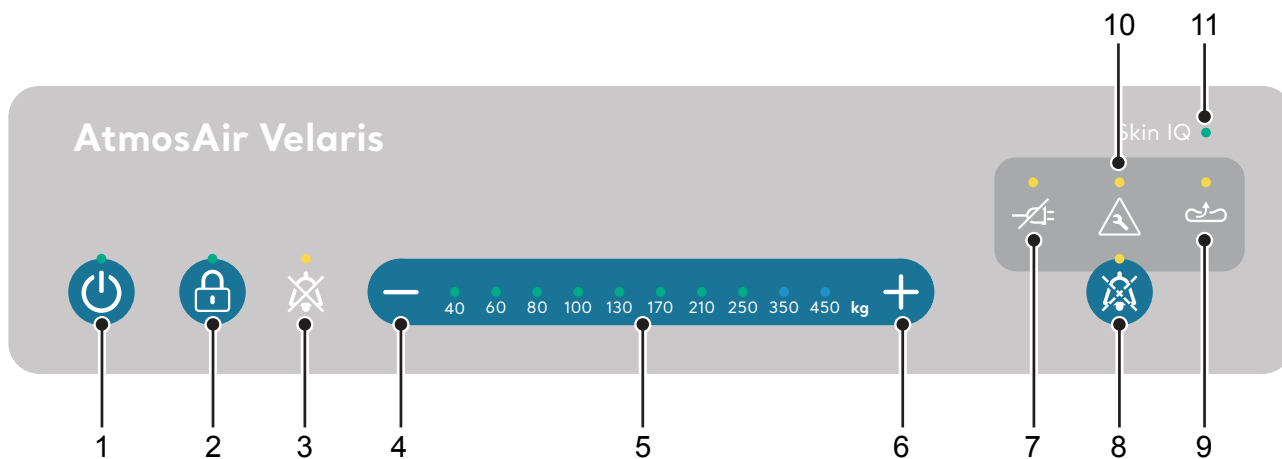
交互圧力ポンプ



1. コントロールパネル(ライト付き)
2. リピーターライト
3. チューブセットコネクタ

4. フック
5. Skin IQポート
6. 電源コード

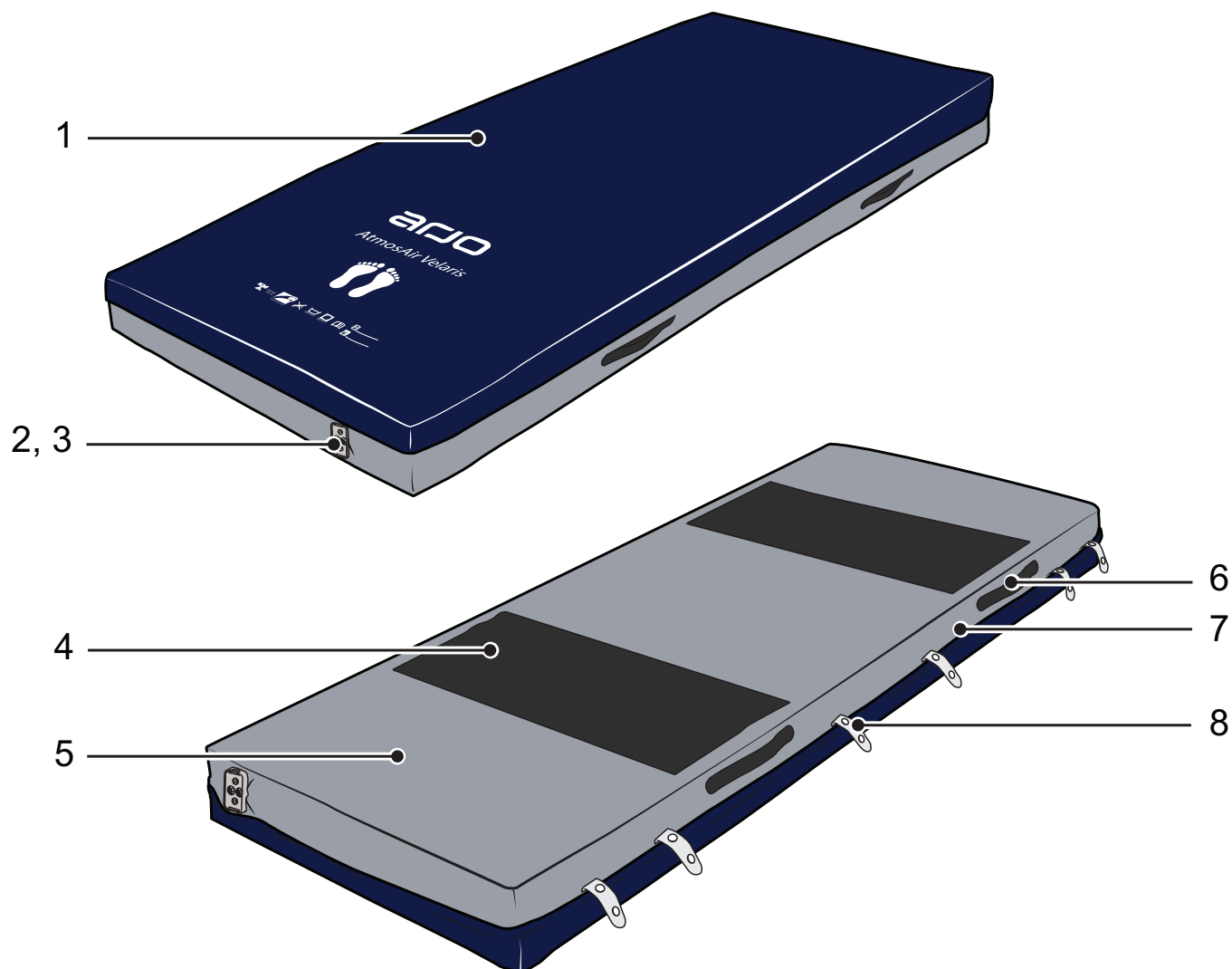
コントロールパネル



1. 運転/スタンバイボタンとライト
2. ロックボタンとライト
3. 音声オフライト
4. 体重減少ボタン(-)
5. 体重選択ライト
6. 体重増加ボタン(+)

7. 電源障害ライト
8. 音声アラーム一時停止ボタンとライト
9. 低圧アラームライト
10. システム障害ライト
11. Skin IQ接続ライト

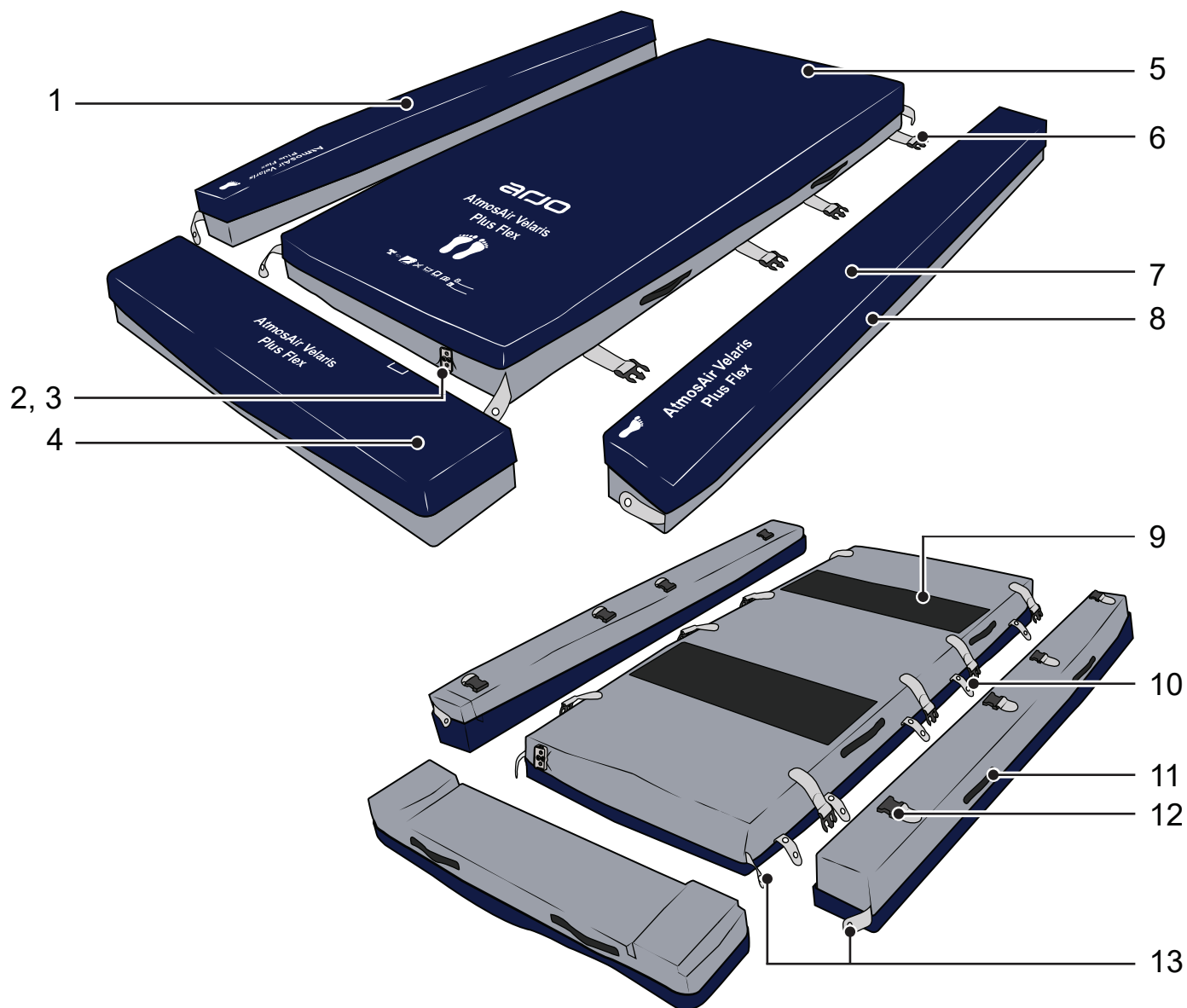
Standard / Plus マットレス



1. 着脱式トップカバー
2. マットレスコネクタ
3. マットレスコネクタキャビティ
4. 滑り止めストリップ

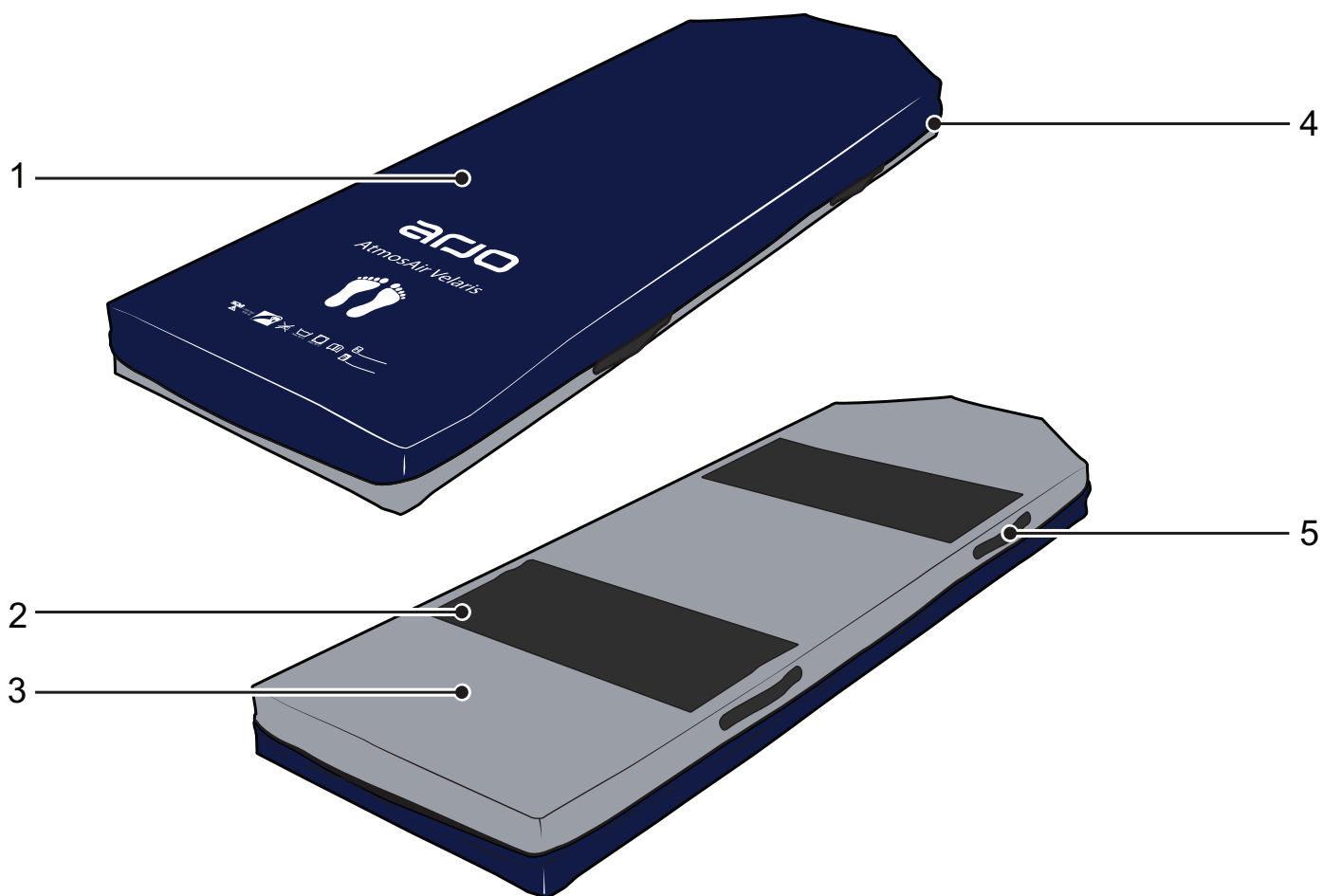
5. 着脱式ボトムカバー
6. ハンドル
7. カバー取り付けファスナー
(ファスナーフラップ付き)
8. ケーブルマネージメントループ

Plus Flex マットレス、ボルスター付き



- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. サイドボルスター (左) | 9. 滑り止めストリップ |
| 2. マットレスコネクタ | 10. ケーブルマネージメントループ |
| 3. マットレスコネクタキャビティ | 11. ハンドル (各ボルスターに2個) |
| 4. フットボルスター | 12. バックル (各ボルスターに4個) |
| 5. マットレス | 13. サイドボルスター固定ストラップ
(頭部先端に2本、足部先端に2本) |
| 6. バックル (各側に4個) | |
| 7. サイドボルスター (右) | |
| 8. カバー取り付けファスナー
(ファスナーフラップ付き) | |

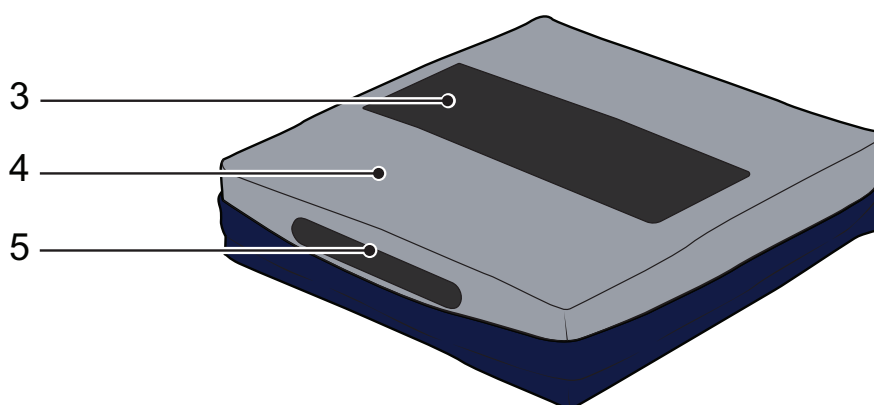
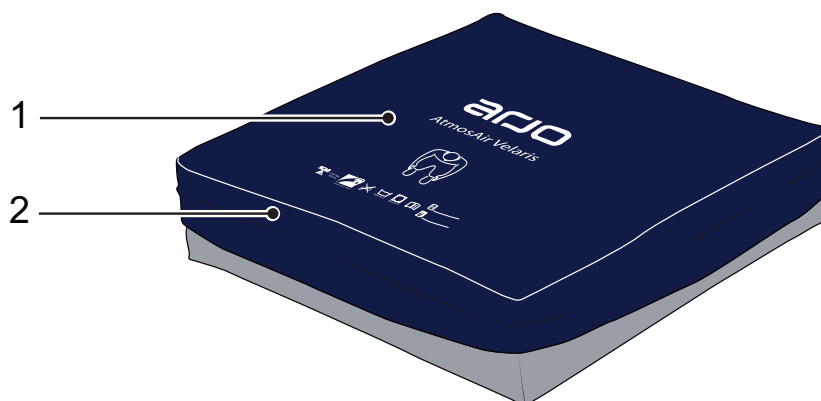
ストレッチャー (ST) マットレス



1. 着脱式トップカバー
2. 滑り止めストリップ
3. 着脱式ボトムカバー

4. カバー取り付けファスナー
(ファスナーフラップ付き)
5. ハンドル

シートクッション



1. 着脱式トップカバー

2. カバー取り付けファスナー
(ファスナーフラップ付き)

3. 滑り止めストリップ

4. 着脱式ボトムカバー

5. ハンドル (背面)

コントロールパネル

運転/スタンバイボタンとインジケーター



運転/スタンバイボタンで、ポンプを運転モードとスタンバイモードを切り替えます。

運転モードでは、ライトが点灯します。

ボタンを2秒間押し続けると、スタンバイモードに切り替わります。ライトが消えます。

ロックボタンとライト



コントロールパネルをロックするには、ロックボタンを2秒間押し続けます。ロックされるとライトが点灯します。

すべてのコントロールパネルのボタンのロックを解除するには、ロックボタンを2秒間押し続けます。ロックが解除されるとライトが消灯します。

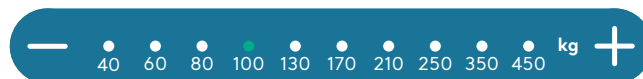
コントロールパネルのボタンを60秒間押さないと、コントロールパネルのボタンは自動的にロックされます。

音声オフライト



音声通知とアラームを無効にしている場合に、音声オフライトが点灯します。
(音声オン/オフスイッチページの18参照。)

体重選択ボタンとライト



デフォルトの体重が設定され、100 kg (220 lb) のライトが点灯します。

- - ボタンを押して、患者の体重を減らします。最小値は40 kg (90 lb) です。
- + ボタンを押して、表示重量を増やします。最大値は450 kg (1000 lb) です。

各ボタンを一回押すと、体重が1ステップずつ増減します。

選択した体重が緑のライトで示されます。

Plusマットレス体重設定 (350 kg および 450 kg) は、選択すると青色のライトで示されます。

患者の体重は、常に切り上げた値を使用してください。

音声アラーム一時停止ボタンとライト



音声アラーム一時停止ボタンを押すと、アラーム音は15分間消音されます。ライトが点灯します。ボタンをもう一度押すと、アラーム一時停止がキャンセルされます。

電源障害ライト



電源障害を検知すると、電源障害ランプが点灯し、アラームが鳴ります。

電源障害時は、アクティブ (交互) セラピーを行うことはできません。

注記

ポンプをオフにして電力障害中にアラームをキャンセルするには、**運転/スタンバイボタン**を2秒間押し続けます。

システム障害ライト



ビルトインセルフテスト (BIST) 中またはセラピー中にポンプの内部障害を検出すると、システム障害ライトが点灯してアラームが鳴ります。

低圧アラームライト



マットレスの圧力が目標圧力に達しない場合、低圧ライトが点灯してアラームが鳴ります。

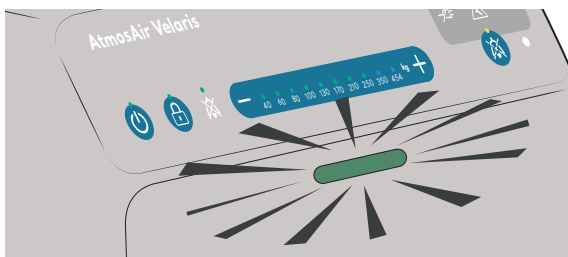
Skin IQ ライト



Skin-IQ カバーが Skin-IQ 電源ポートに接続されると Skin-IQ ライトが点灯します。

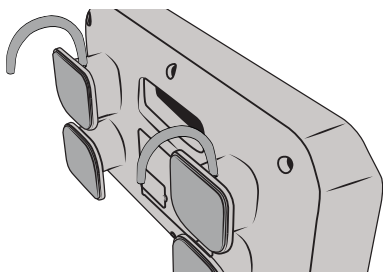
製品説明 - 交互圧力ポンプ

リピーターライト



正常動作時は、リピータライトが緑色に点灯します。
故障時は、リピータライトが黄色に変わります。

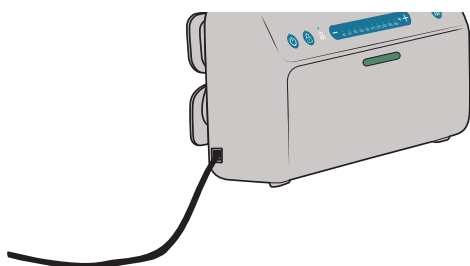
吊り下げフック



フックを使用して、ポンプをベッドの足側の端に取り付けます。

ポンプは、ベッドやマットレスコネクタの近くの平らな面に設置することもできます。

電源コード



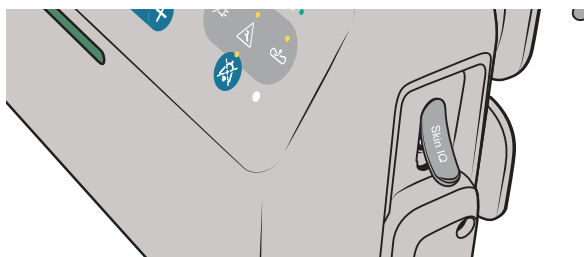
電源ケーブルをマットレス左側のケーブル管理ループで固定します。

ケーブル管理ループページの19を参照してください。

日中/夜間モード

光センサーは、周囲の明るさに応じてポンプライトの明るさを自動的に下げます。

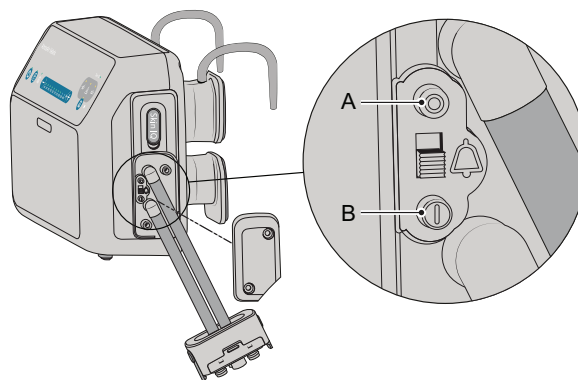
Skin IQ ポート



Skin IQカバーへの電力供給には、必ず、Skin IQ電源ケーブルとSkin IQポートを使用してください。(使用可能な組合せページの40参照)

Skin IQの使用方法については、Skin IQ取扱説明書を参照してください。

音声オン/オフスイッチ



音声オン/オフスイッチは、すべてのポンプ音声通知を無効にします。音声出力が患者の邪魔になる可能性があるとして判断された場合に使用します。

音声オン/オフスイッチは、サイドパネルカバーの下にあります。カバーはサービス技術者のみが取り外すことができます。

すべての音声出力を無効にするには、スイッチをAの位置にします。すべての音声出力を有効にするには、スイッチをBの位置にします。

注記

音声オン/オフスイッチは、責任部署の指示のもとで有資格担当者のみが使用してください。

製品の説明 - マットレスとシートクッション

すべてのタイプのマットレス

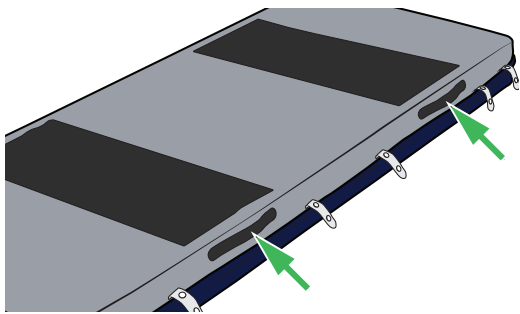
ハンドル



警告

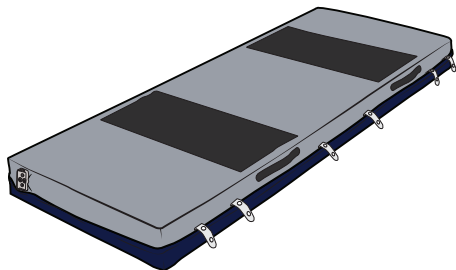
人身事故を防ぐため、マットレスやSTマットレスを患者の移動装置として使用しないでください。

マットレスを移動するには、マットレスカバー下部の4つのハンドルを使用します。



滑り止めベース

ボトムカバーの滑り止めストリップは、ベッドフレーム上でマットレスが滑るのを防ぎます。

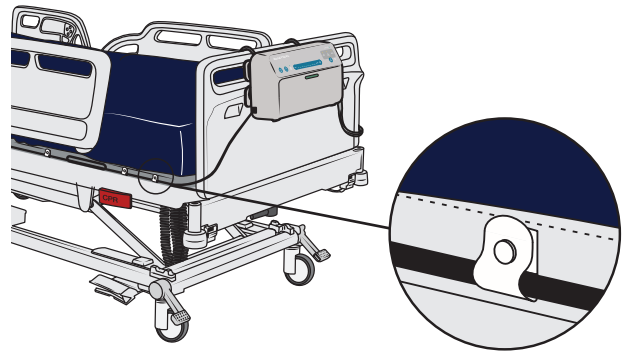


Standard / Plus マットレスのタイプ

カバー

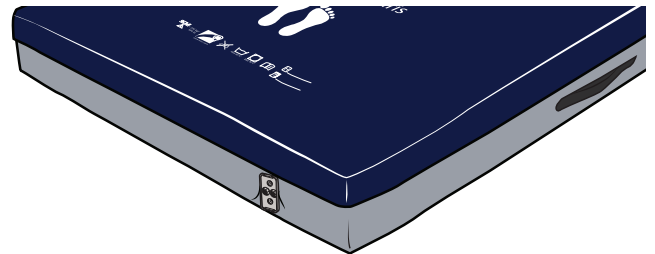
マットレスの上部と下部の溶接カバーは、ジッパーで連結されています。

ケーブル管理ループ



ケーブル管理ループは、転倒や絡まり・もつれを防ぐために、ポンプ電源ケーブルの固定に使用します。

マットレスコネクタ



マットレスコネクタは、マットレスをポンプに接続するために使用します。マットレスコネクタは、マットレスの足側の端にあります。

Plus Flex マットレス、ボルスター付き

カバー

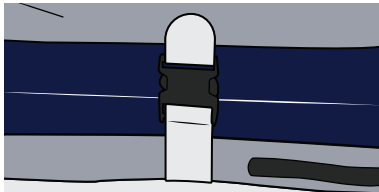
Plus Flex マットレスとボルスターボトムカバー下部は縫製、トップカバーは溶着され、ジッパーで一体にしています。

ハンドル

マットレスを移動するには、マットレスカバー下部の4つのハンドルを使用します。

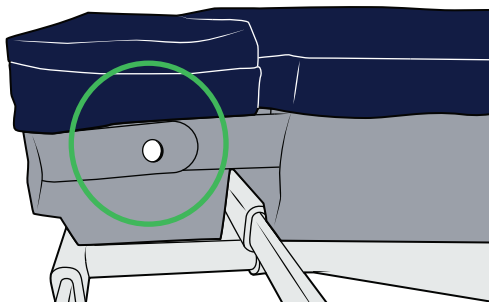
ボルスターを移動するには、ボルスターカバー下部の2つのハンドルを使用します。

バックル



バックルは、サイドボルスターをマットレスに接続するために使用します。マットレスの両側には4つのバックルがあり、サイドボルスターには対応するバックルがあります。

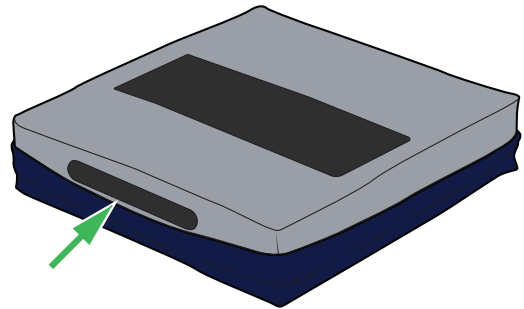
サイドボルスター固定ストラップ



サイドボルスター固定ストラップは、サイドボルスターをマットレスに接続するために使用します。

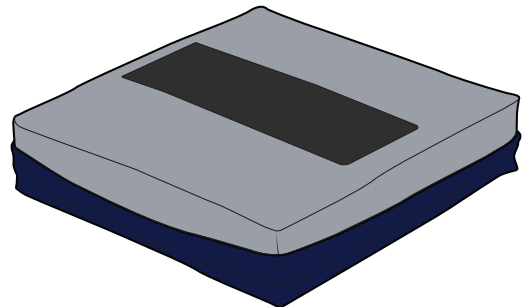
シートクッション

ハンドル



シートクッションは、背面のハンドルを使用して動かします。

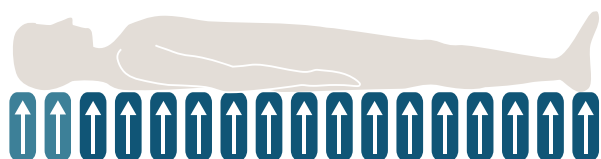
滑り止めベース



ボトムカバーの滑り止めストリップは、椅子の上でクッションが滑ることを防ぎます。

静止（リアクティブ）セラピーおよび圧切替（アクティブ）セラピー

静止（リアクティブ）セラピー



静止（リアクティブ）セラピーでは、ポンプを接続しないでください。マットレスがポンプに接続されている場合は、ポンプチューブセットコネクタを外します。

静止（リアクティブ）セラピーを始める前に、マットレスがベッド/トロリーフレームに正しく取り付けられていることを確認してください。ハイブリッドマットレスシステムの組み立てページの22を参照してください。

患者の位置

患者をマットレスの中央に寝かせます。患者の頭部がマットレスの頭部側にあることを確認してください。

圧切替（アクティブ）セラピー



圧切替（アクティブ）セラピーでは、マットレスをとAtmosAir Velaris ポンプを接続します。圧切替（アクティブ）セラピーには、StandardまたはPlus マットレスのシリーズを使用します。

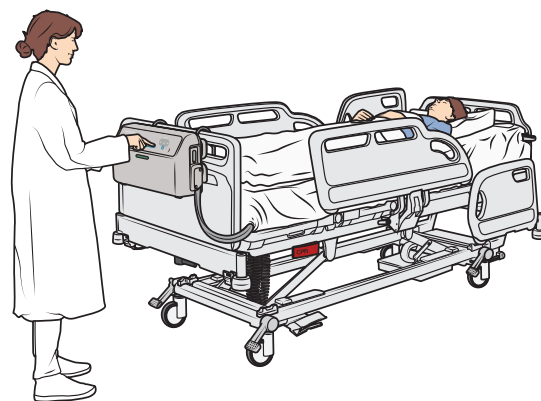
圧切替（アクティブ）セラピーを始める前に、ハイブリッドマットレスシステムが交互圧力ポンプを取り付けた状態で正しく組み立てられていることを確認してください。ハイブリッドマットレスシステムの組み立てページの22を参照してください。

患者の位置

患者をマットレスの中央に寝かせます。患者の頭部がマットレスの頭部側にあることを確認してください。

介助者の位置

圧切替（アクティブ）セラピーの実施中、介助者はポンプの前にいる必要があります。



システムの起動

1. ポンプの電源コードをコンセントに接続します。ポンプの起動音が鳴った後、約 10 秒間の自己診断チェックを実行します。
2. チェックが完了すると、ポンプは直ちにアクティブ（交互）セラピーを開始します。体重の初期設定は、100 kg (220 lb) です。
3. - または + ボタンを押して、体重を選択します。患者の体重は、必ず切り上げた値を使用してください。


ハイブリッドマットレスシステムの組み立て

圧切替（アクティブ）セラピーでは、マットレスを AtmosAir Velaris ポンプと組み立てます。

静止（リアクティブ）セラピーでは、ポンプを接続しないでください。マットレスがポンプに接続されている場合は、ポンプチューブセットコネクタを外します。

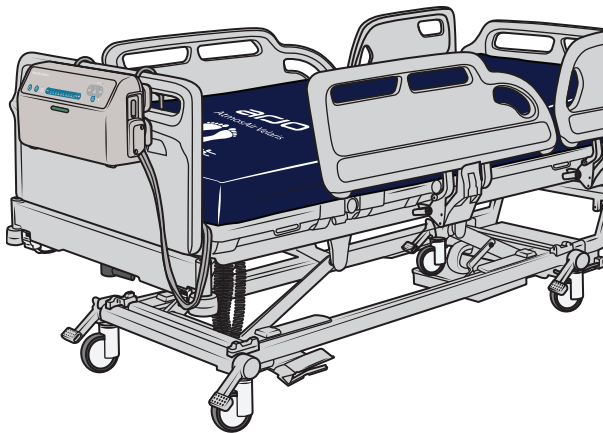
Standard および Plus マットレスの組み立て

1. いずれの既存のマットレスもベッドフレームから取り外します。
2. フレーム表面に鋭利な突起物がないことを確認します。

3.  **警告**
挟み込みによる死亡または重傷を負うことを避けるため、必ずベッドに合った正しいマットレスサイズを選択してください。

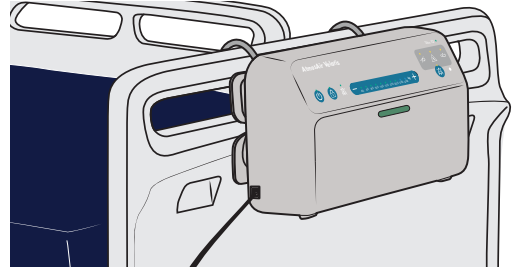
ベッドフレームに適したサイズのマットレスを選択します。患者の頭部や身体を挟むおそれのある隙間がないことを確認します。マットレスのサイズについてはセクション測定値および互換性 ページ40を参照してください。

4. マットレスをベッドフレームに配置します。マットレスがベッドフレームの足部先端にあるマットレスコネクタに正しく向いていることを確認してください。




ポンプの組み立て

1. ケーブル管理ループから電源ケーブルとチューブセットを外します。
2. ポンプをベッドの足部先端に掛けます。



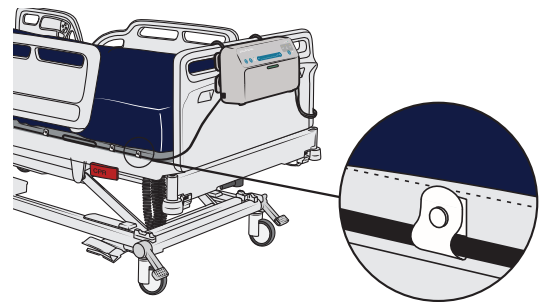
ポンプが次の状態にならないようにしてください。

- 熱源に近い
 - 直射日光下
 - 布などで覆われている
3. チューブセットコネクタにねじれがないことを確認します。

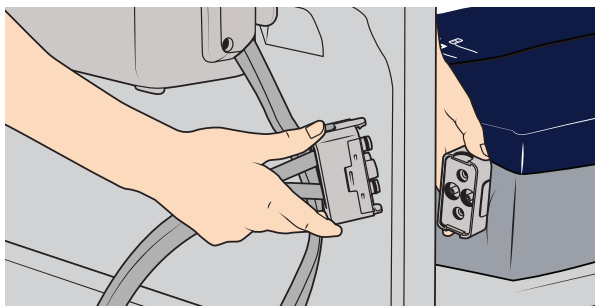
4.  **警告**
つまずきや巻き込みの危険を避けるため、電源コードは常に適切に管理してください。

電源ケーブルを下部マットレスカバーの左側にあるケーブル管理ループに配置します。Plus Flex フットボルスターを使用する場合は、ベッドの足部先端で、ケーブルのゆるみを残します。

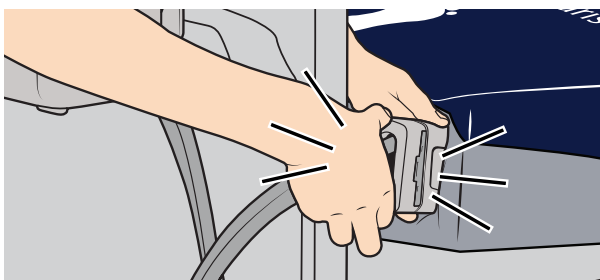
5. ロッククリップの付いた6つのケーブルループでケーブルを固定します。



6. 電源ケーブルとケーブル管理ループの上にファスナーフラップをかぶせます。
7. マットレスコネクタを空洞から少し引き出します。



8. コネクタを一緒に押し縮めます。ポンプチューブセットコネクタの上部と下部のツメにカチッと音がしてはまることを確認します (カチッという音が2回)。



9. マットレスコネクタをマットレスの空洞に押し戻し、ファスナーフラップを元に戻します。



10. システムの起動ページの21を参照してください。

Plus Flex マットレスとボルスターの組み立て

Plus Flex は、必ず Citadel Plus ベッドフレームと併用してください。

1. Plus Flex マットレスをベッドフレームの中央に配置します。ポンプの組み立てページの22圧切替（アクティブ）セラピーでは、ステップ 1-6 に従ってください。

2.

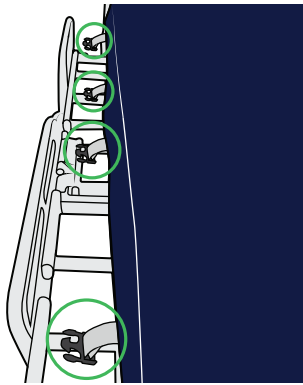


警告

転倒や挟み込みの危険を避けるため、ボルスターを取り付けたり取り外したりする際は、ベッドフレームの開いた側に介助者がいることを確認してください。

Citadel Plus ベッドフレームの左側の幅を完全に伸ばします。手順については Citadel Plus 取扱説明書を参照してください。

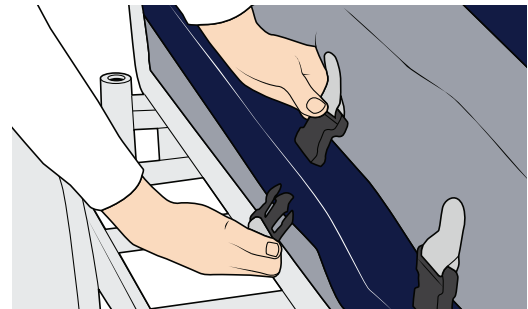
3. すべてのマットレスバックル（各側面に4個）が延長ベッドフレームの上に配置されていることを確認します。



4. 左側のボルスターをマットレスの端に置き、フットプリントが足部先端にあり、ハンドルが上向きであることを確認します。

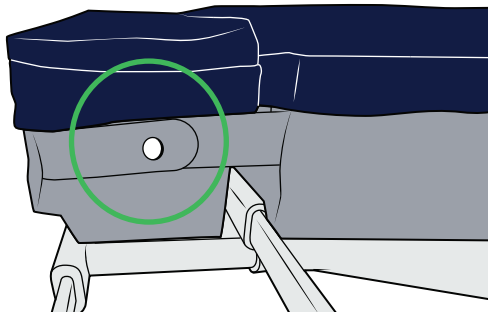


5. サイドボルスターのバックルをマットレスのバックルに合わせます。
6. 4つのバックルを取り付けます。

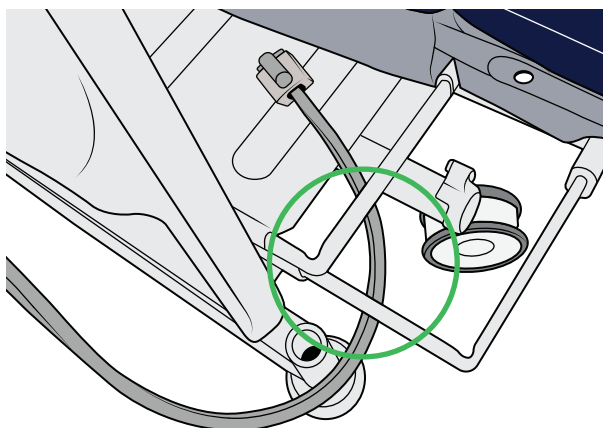


7. サイドボルスターをベッドフレーム上に折り曲げます。サイドボルスターが延長部分にしっかりと取り付けられ、マットレスと水平になっていることを確認してください。

8. 固定ストラップのロッククリップを使用して、サイドボルスターをマットレスに固定します。足部先端に2つ、頭部先端に2つあります。

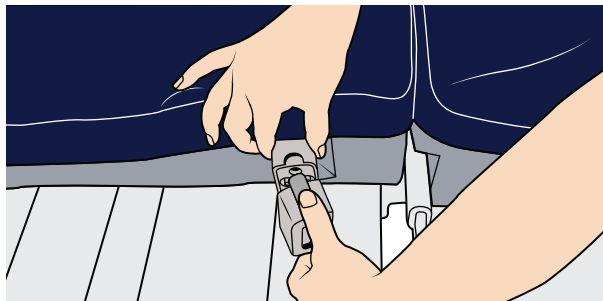


9. 右側のサイドボルスターで手順2-7を繰り返します。
10. Citadel Plus ベッドフレームを完全に伸ばします。
11. ポンプのチューブセットコネクタをベッドフレームの右側にある足部先端の隙間を通して引き込みます。

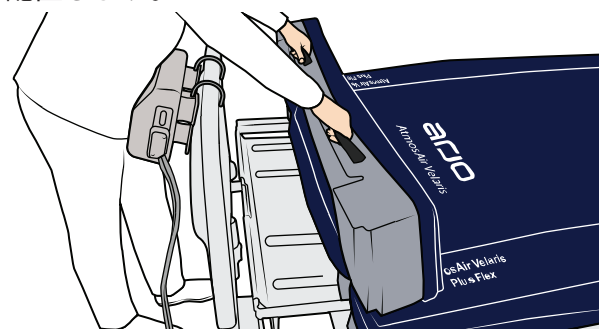


12. マットレスのコネクタを少し引き出します。

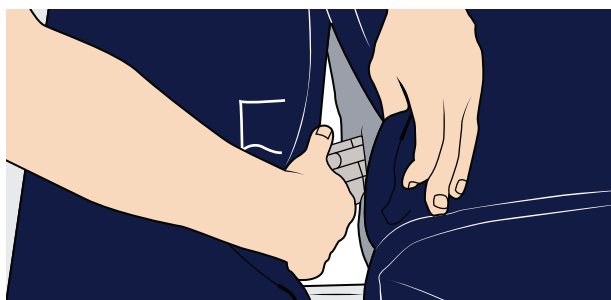
13. コネクタを一緒に押し縮めます。ポンプチューブセットコネクタが両側でカチッと音がしてはまることを確認します（カチッという音が2回鳴ります）。



14. マットレスコネクタをマットレスの空洞に押し戻します。
15. フットボルスターをマットレスの足部先端に配置します。



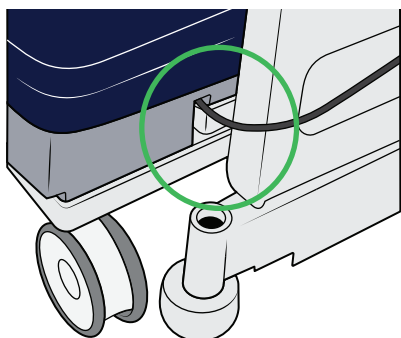
16. フットボルスターをベッドフレーム上で折り曲げます。コネクタがフットボルスターの上部カバーの正方形のマークとそろっていることを確認してください。



17. ファスナーフラップを元の位置に戻します。

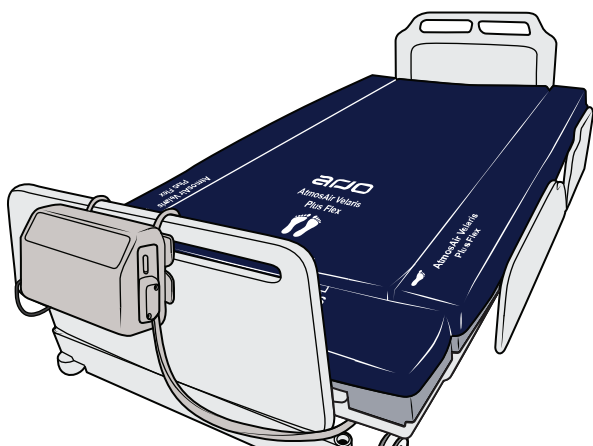
次ページに続きます

18. フットボルスターを持ち上げ、電源ケーブルを左側の空洞に入れます。



19. すべてのボルスターについて、次を確認してください。

- ボルスターはマットレスと同じ高さであること。
- トップカバー上に印刷された表示が見えること。
- ボルスターのすべてのハンドルが外側にあること。
- すべてのバックルがマットレスにしっかりと取り付けられていること。
- マットレス頭部先端と足部先端のロッククリップがすべて取り付けられていること。
- すべてのファスナーフラップが折りたたまれ、ファスナーを覆っていること。



20.



警告

落下や挟み込みの危険を避けるため、患者がマットレスの中央に配置されていることを確認してください。

患者をマットレスの中央に配置します。

21. すべてのサイドレールが上がっていることを確認します。
22. 圧切替（アクティブ）セラピーについては、システムの起動ページの21を参照してください。

搬送モード



警告

転倒や挟み込みの危険を避けるため、ボルスターを取り付けたり取り外したりする際は、ベッドフレームの開いた側に介助者がいることを確認してください。

エレベーターの大きさの都合上、搬送中にサイドボルスターおよび/またはフットボルスターを取り外し、再度組み立てる必要が生じることがあります。

介助者は常にサイドレールが外された側に立ち、患者の腕と足がボルスターに載っていないことを確認してください。

ベッドフレームの延長部は必ず格納してください。各ボルスターを取り外したら、足部先端または左右のベッドフレームを格納します。

患者がベッドから離れる場合



警告

患者がベッドから離れる際に転倒する危険を避けるため、ベッドフレームの開いた側に介助者がいることを確認してください。

患者がベッドから離れる必要がある場合は、介助者が常にベッドの開いた側にいることを確認してください。

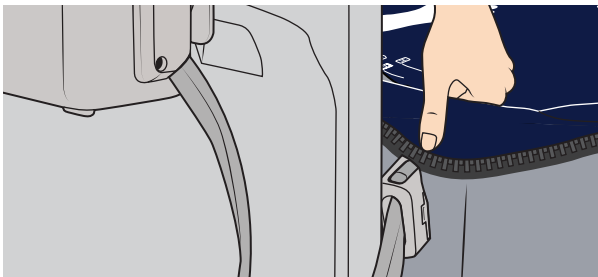
ハイブリッドマットレスシステムの分解

ポンプの電源オフと取り外し

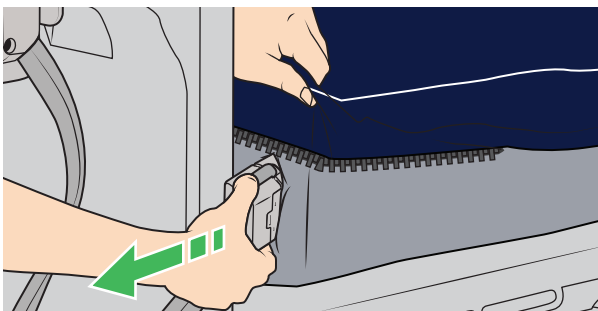
1. セラピーを停止するには、ロックボタンを2秒間押し続け、次に運転/スタンバイボタンを2秒間押し続けます。
2. 電源コードを電源コンセントから抜きます。
3. Plus Flex の場合、フットボルスターを持ち上げます。

4. **注意**
ポンプチューブセットコネクタを取り外す前に、そのまま放置して、マットレスのエアセルが大気圧と等しくなるようにしてください。

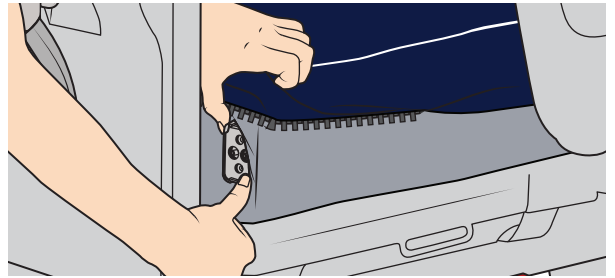
マットレスの足部先端付近にあるコネクタの空洞内にあるコネクタの位置を確認します。



5. ポンプコネクタの上下にある2つのボタンをしっかりと押し、マットレスコネクタから引き抜きます。



6. マットレスコネクタをコネクタの空洞に押し戻します。



注記

マットレスは、アクティブ (交互) セラピーが必要となり、ポンプが再接続されるまで、継続してベッドフレーム上でリアクティブ表面として使用できます。

Plus Flex の解体

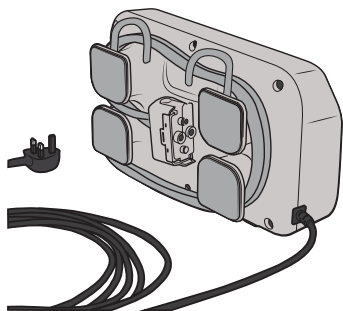
延長部を開いたままにしないでください。ベッドフレームの格納方法については、Citadel Plus 取扱説明書を参照してください。

1. フットボルスターを持ち上げます。
2. ポンプを使用してる場合は、チューブセットコネクタを外します。
3. ベッドフレームの足部先端を格納します。
4. 左側ボルスターの固定ストラップを外します。
5. 左側ボルスターをマットレスの上に折り曲げます。
6. 4つのバックルを外します。
7. 該当する場合は、ケーブル管理ループからケーブルを取り外します。
8. ベッドフレームの左側を格納します。
9. 右側ボルスターの固定ストラップを外します。
10. 右側ボルスターをマットレスの上に持ち上げます。
11. 4つのバックルを外します。
12. ベッドフレームの右側を格納します。

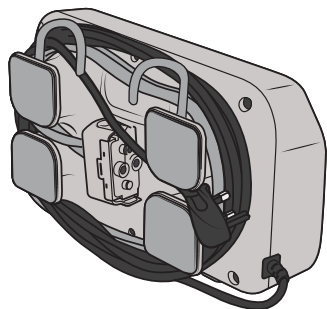
次ページに続きます

ポンプの保管

1. ポンプを洗浄・消毒します。
(「清掃と消毒ページの32」参照)。
2. ポンプチューブセットを、吊り下げフックに
反時計回りに巻きつけます。



3. 電源コードを吊り下げフックの周りに時計回りに巻きつけます。



4. ポンプを決められた場所で保管します。(保管要件については、「輸送と保管ページの39」参照)。

ストレッチャー (ST) マットレスの組み立て

1. マットレスが付属している場合は、トロリーフレームから取り外します。
2. フレーム表面に鋭利な突起物が見出されていないことを確認します。

3. **警告**
挟み込みによる死亡または重傷を負うことを避けるため、必ずトロリーに合った正しいマットレスサイズを選択してください。

トロリーフレームに適したサイズのマットレスを選択します。患者の頭部や身体を挟むおそれのある隙間がないことを確認します。マットレスのサイズについてはセクション測定値および互換性 ページ40を参照してください。

4. マットレスをトロリーフレームに配置します。マットレスのカットされた角側が頭部先端側になるのが正しい向きです。



シートクッションの組み立て

注意

不適切な圧の再分散を避けるため、常にシートクッションを正しい方向に設置して使用してください。

注意

シートクッションを破裂させる恐れのある鋭利な物体が椅子の上にあることを確認してください。

シートクッションを椅子の座面上部に配置します。
クッションのプリント部が椅子の前部に、
キャリーハンドルが後部になるようにします。



在宅での使用



警告

介助者または家族などの非専門家がハイブリッドマットレスシステムを操作する際に、患者の人身事故を防ぐため、以下のことに注意してください。

- 機器がセクション静止（リアクティブ）セラピーおよび圧切替（アクティブ）セラピーページの21に従って動作していることを確認します。
- 機器が正しく動作していない場合は、セクショントラブルシューティングとアラームページの38を参照してください。
- それでも機器が正常に作動しない場合や、懸念がある場合は、患者の主治医または看護師に相談してください。



警告

巻き込みの危険を避けるため、お子様や容態の悪い方を機器の近くで一人にさせないでください。



警告

人身事故を避けるため、お子様やペットを本製品に近づけないでください。



警告

窒息を避けるため、本機器に同梱されているバッグは乳児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。



警告

窒息の危険を避けるため、機器の近くでお子様を一人にしないでください。本機器には小さな部品が付属しています。小さいお子様、容態の悪い方、ペットが飲み込んだり口に含むと窒息する危険性があります。

注意

機器の損傷を防ぐため、ペットや子供がハイブリッドマットレスシステムに近づかないようにしてください。

在宅環境でAtmosAir Velarisハイブリッドマットレスシステムを使用する前に、家族を含む介助者全員が本取扱説明書の手順を必ず読み、理解するようにしてください。

ハイブリッドマットレスシステムを使用する際は、次のことを確認してください。

- システムは熱源や湿気の影響を受けておらず、ほこり、糸くず、汚れから保護されていること。
- ポンプにカバーがかけられていないこと。
- 動作環境が要件を満たしていること。セクション動作条件ページの39を参照してください。

ハイブリッドマットレスシステムを使用していないときは、次のことを確認してください。

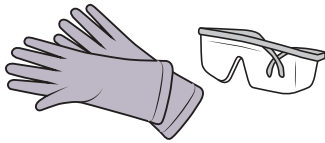
- 子供が近づくことができないこと。
- ペットが接触しないこと。
- 保管環境が要件を満たしていること。セクション輸送と保管ページの39を参照してください。

清掃と消毒

ハイブリッドマットレスシステムは、定期的に、異なる患者が使用するたびに、洗浄・消毒する必要があります。機器の使用に関しては、お住まいの地域の指針に従ってください。

本製品の洗浄と消毒に関するご質問は、Arjoにお問い合わせください。使用する消毒液の安全データシート (SDS) を必ず確認してください。

警告



目や皮膚の損傷を防ぐために、保護メガネと保護手袋を必ず着用してください。万一目に入った場合、大量の水で洗い流してください。目や皮膚が炎症を起こしている場合、医師にご相談ください。消毒液の製品安全データシートを必ずお読みください。

警告

目や皮膚の損傷を防ぐために、保護メガネと保護手袋を必ず着用してください。万一目に入った場合、大量の水で洗い流してください。目や皮膚が炎症を起こしている場合、医師にご相談ください。消毒液の製品安全データシートを必ずお読みください。

警告

感電を避けるため、清掃と点検を行う前に必ずポンプを電源から外してください。

警告

二次感染を防ぐために、常に本取扱説明書の消毒の手順に従ってください。

警告

目や皮膚の炎症を防ぐために、患者がいる所で決して消毒しないでください。

注意

機器の損傷を防ぐには：

- 汚染除去作業の間、フェノール系溶剤、研磨剤や研磨パッドを使用しないでください。表面コーティングを損ないます。
- ポンプに直接洗浄溶液を噴霧しないでください。
- ハイブリッドマットレスシステムのどの部分であっても、オートクレーブまたはスチーム洗浄はできません。電気部品に水をかけないでください。

使用可能な消毒液

消毒液	ハイブリッドマットレスシステム	トップカバー	ボトムカバー	推奨する使用方法
アルコール溶液 ≤ 70%	●	●	●	コーティングは濡れていると膨張することがあります。誤って引っ掛けて傷付けないように注意し、必ず乾いてから折りたたんで保存してください。
塩素溶液 ≤ 1% (10,000 ppm) ¹	●	●	●	pH 7～9で使用可能です。きれいな水で洗い流してから、タオルで乾かしてください(強くこすり過ぎないこと)。
第四級アンモニウム溶液 1920 ppm	●	●	●	pH 7～10でのみ使用可能です。使用前に必ずラベルを確認してください。水酸化ナトリウム (NaOH) を含むワイブを使用しないでください。きれいな水で完全に洗い流し残留化学物質を除去します
第四級アンモニウム溶液 3～15%		●	●	pH 7～10でのみ使用可能です。使用前に必ずラベルを確認してください。水酸化ナトリウム (NaOH) を含むワイブを使用しないでください。きれいな水で完全に洗い流し残留化学物質を除去します。
過酸化水素溶液 3～10%		●		pH 5～9でのみ使用可能です。pHが低すぎたり高すぎたりすると、コーティングが損傷します。水で完全に洗い流して酸やアルカリを除去します。
¹ 塩素濃度は、地方自治体の条例および汚染状態に応じて250 ppm～10,000 ppmのものを使用します。				
注記 保管前に各薬剤で消毒した後、きれいな水で十分にすすいで残留化学物質を除去してから乾燥させます。				

洗浄／消毒に必要なアクセサリ

- 防護メガネ
- 防護用手袋
- 洗浄剤入りスプレーボトル
- 消毒液入りスプレーボトル
- 水入りスプレーボトル
- クロス

洗浄と消毒

(26ステップ)

各患者の使用ごとに、必ず以下の手順で適切な清掃と消毒を行ってください。

ポンプの準備

1. ポンプをマットレスから外します。
2. ポンプユニットをスタンバイにします。ポンプの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

ポンプの清掃

3. 保護手袋と保護メガネを着用します。
4. 洗浄剤をきれいな布にスプレーします。
5. ポンプ全体をくまなく拭き、付着物や目に見える汚れを取り除きます。
6. 必要に応じて、残っている汚れを布で拭き取ります。
7. 水に浸した新しい布を使用して、洗浄剤が残らないように拭き取ります。
8. 乾いた布を使用して、ポンプに残った水分を拭き取ります。

ポンプの消毒

9. 消毒液をきれいな布にスプレーし、ポンプ全体をくまなく拭きます。
10. 消毒時間は、消毒液メーカーの指示に従ってください。
11. 水に浸した新しい布を使用して、ポンプに消毒液が残らないように拭き取ります。
12. 乾いた布を使用して、ポンプに残った水分を拭き取ります。
13. ポンプを自然乾燥させます。

マットレス/ボルスター/シートクッションカバーの清掃

注記

トップカバーについて、汚れの程度を確認してください。汚れがひどい場合は、トップカバーを洗濯してください。ボトムカバーは必ず拭き取って消毒する必要があります。

14. きれいな布に洗浄剤をスプレーし、マットレス/シートクッションのトップカバーとボトムカバーの外面とハンドル部分をすべて拭きます。マットレスコネクタとコネクタキャビティもきれいに拭きます。きれいな布で汚れを拭き取ります。
15. 必要に応じて、洗浄液で汚れた部分を清掃します(例えば、ハンドル)。
16. 水に浸した新しい布を使用して、洗浄剤が残らないように拭き取ります。
17. 乾いた布で残った水分を拭き取ります。

次ページに続きます

マットレス/ボルスター /シートクッションカバーの消毒

18. 清潔な布に消毒液を噴霧し、マットレス/シートクッションの上部および下部カバーの外側およびハンドルをすべて拭きます。マットレスコネクタとコネクタキャビティもきれいに拭きます。
19. 消毒時間は、消毒液メーカーの指示に従ってください。
20. 水に浸した新しい布を使用して、マットレス/シートクッションに消毒液が残らないように拭き取ります。
21. 乾いた布で残った水分を拭き取ります。
22. マットレス/シートクッションのトップカバーとボトムカバーを自然乾燥させます。

マットレス/ボルスター/シートクッション トップカバーの洗浄

23. トップカバーのファスナーを開けて、マットレス/シートクッションから外します。
24. トップカバーを80°C (176°F) 以下の温度で洗剤で洗います。
25. 洗浄後、トップカバーを空気乾燥 (推奨) するか、40°C (104°F) または最大 80°C (176°F) で回転乾燥します。
26. 乾いたら、トップカバーをマットレス/シートクッションに再度取り付けます。

点検・メンテナンス

通常の使用においても、ハイブリッドマットレスシステムは損耗していきます。製品が出荷時の製造仕様の範囲内にあることを確認するために、指定された期間で、次のアクションを実行します。

警告

人身事故につながる故障を防止するため、定期的に機器を点検してください。必ず推奨メンテナンススケジュールに従ってください。

警告

人身事故を防ぎ、製品を安全に使用するため、ポンプのケースは有資格担当員のみが取り外してください。ポンプ、マットレス、またはシートクッションの内部部品をユーザーご自身で交換、修理しないでください。本製品を改造しないでください。

警告

人身事故を防ぎ、製品を安全に使用するため、本機器は正しい頻度で適切に整備する必要があります。すべての有資格担当者は、本機器のメンテナンスに関して文書化されたトレーニングを受け、正しいツール、部品、およびノウハウを使用する必要があります。

ケアスタッフによる作業	毎回の使用前または毎週	患者の使用後には
ハイブリッドマットレスシステムの全機能テストを実施します	●	
コントロールパネルの目視点検	●	
電気システムの接続部や電源コードすべての目視点検	●	
マットレスコネクタの目視点検	●	
ポンプチューブセットとコネクタの目視点検	●	
トップカバーとボトムカバーの目視点検	●	
清掃と消毒		●
すべてのラベルの目視点検		●
すべてのファスナーの目視点検		●

介助者の責務 - 毎回の使用前または毎週

注記

破損あるいは不足している部品がある場合は、本製品を使用しないでください。

ハイブリッドマットレスシステムの全機能テストの実施

1. ポンプチューブセットをStandard / Plusマットレスに接続します。チューブセットがカチッという音とともに所定の位置に収まったことを確認します。
2. ポンプの電源コードをコンセントに接続します。ポンプの起動音が鳴った後、約 10 秒間の自己診断チェックを実行します。
3. チェックが終了すると、ポンプの運転 / スタンバイライトおよびフロントパネルのリピータライトが点灯します。ハイブリッドマットレスシステムは、初期体重設定の100kg (220 lb) でアクティブ (交互) セラピーを開始します。
4. 機能テストに失敗した場合は、資格のあるサービス担当者に連絡してください。

コントロールパネルの目視点検

- コントロールパネルがしっかり固定されていることを確認します。
- コントロールパネルの損傷がないことを確認します。
- コントロールパネルが判読可能なことを確認します。

電気システムの接続部や電源コードすべての目視点検

- あらゆる電氣的な接続部に過剰な消耗や損傷の兆候がないか点検します。
- 電源ケーブルに過度の摩耗や損傷の兆候がないか点検します。

マットレスコネクタの目視点検

- コネクタソケットに過剰な消耗や損傷の兆候がないか点検します。

ポンプチューブセットとコネクタの目視点検

- チューブセットに過剰な消耗や損傷の兆候がないか点検します。
- コネクタソケットに過剰な消耗や損傷の兆候がないか点検します。

トップカバーとボトムカバーの目視点検

- トップカバーを取り外し、摩耗、裂け目、または裏抜け (にじみ) の兆候がないか点検します。
- ボトムカバーに摩耗や破れの兆候がないか調べます。

介助者の責務 - 各患者の使用後

洗浄と消毒

ハイブリッドマットレスシステムは、洗浄し消毒する必要があります。詳細な手順については、セクション清掃と消毒ページの32を参照してください。

すべてのラベルの目視点検








すべてのラベルがハイブリッドマットレスシステムに貼り付けられていることを「ラベルページの43」に従って点検します。ラベルがない場合は、Arjoカスタマーサービスまでご連絡ください。

すべてのファスナーの目視点検

- すべてのファスナーに損傷やゆるみがないことを確認します。
- ファスナーのつまみが紛失していないことを確認します。

トラブルシューティングとアラーム

低圧アラームとハードウェア故障アラームは、重要度が低いアラームです。電源故障ライトは情報信号です。

ライト	想定される原因	対処法	アラーム作動遅延
低圧  リpeatライト点灯	<ul style="list-style-type: none"> マットレスがポンプコネクタに正しく接続されていません。 空気圧システムに漏れがあります。 	<ol style="list-style-type: none"> チューブセットコネクタがポンプに正しく接続されていることを確認してください。正しく接続されるとカチッという音が聞こえます。 有資格担当者に連絡してください。 	最大25分(マットレスの場合)
電源障害  その他のすべてのライトが消灯しています。	<ul style="list-style-type: none"> 電源が取り外されているか、スイッチがオフになっているか、または切断されています。 停電。 	<ol style="list-style-type: none"> 電源を再びオンにするか、または再接続します。 電力が回復するまで待ちます。 運転/スタンバイボタンを長押ししてアラームをキャンセルします。 	即時
ハードウェアの故障  リpeatライト点灯	<ul style="list-style-type: none"> 初回起動時。 通常動作中、起動が成功した後。 	<ol style="list-style-type: none"> 内部ハードウェア障害、ポンプを交換します。 スタンバイに切り替え、電源ケーブルをコンセントから抜きます。電源を再投入し、BISTで障害を検出した場合はポンプを交換します。 	電源起動後10秒間 通常動作中いつでも
ロックモード 	ポンプはロックモードになっています。	ロックボタンを2秒以上押し続けます。ロックボタンライトが消灯し、すべてのボタンがロック解除されます。	
音声アラーム一時停止 	ポンプの音声アラームが、低圧またはハードウェア故障状態で一時停止しました。	故障状態が解消されると、音声アラーム一時停止がリセットされ、ライトは消灯します。 15分後、音声アラーム一時停止がリセットされ、ライトは消灯します。故障状態が続くと、再び音声アラームが鳴ります。	最大15分間
音声オフ 	故障状態の際、音声アラームがなく、音声オフライトが点灯している場合。音声オン/オフスイッチがオフ位置に設定されています。	音声によるアラームや通知が必要な場合は、有資格資格者が音声オン/オフスイッチをオンに設定することができます。	
SKIN IQ 	Skin IQは接続されていますが、モーターが動作していません。	Skin IQカバーを交換します。コントロールPCBAを交換します。	

技術仕様

一般 - ポンプ	
モデル:	AtmosAir Velaris
ケース材質:	PC ABS
部品番号:	633XXX (XXXは取り付けられている主電源リードの種類によって決定されます。実際の部品番号は後部ラベルを参照してください)
サイズ:	337 x 107 x 200 mm (13.3 x 4.2 x 7.9 インチ)
本体重量:	4.1 kg (9 lb)
プラグヒューズ定格:	5A~BS1362 (英国のみ)
電気ショックに対する保護等級:	接続電源: クラス 2、アースなしの二重絶縁 BFタイプ
液体侵入に対する保護等級:	IP22 12ミリメートルを超える指や異物の侵入から保護されています。垂直から15度までの角度で噴霧される水から保護されています。
操作モード:	連続
交互加圧モードサイクル時間:	10分

技術仕様	
供給電圧:	100-230 V
供給周波数:	50-60 Hz
入力電力:	3-46 VA

動作条件	
温度 (周囲):	5°C~40°C (41°F~104°F)
相対湿度範囲:	15%~90% (結露なし)
大気圧:	700 hPa~1060 hPa
ポンプが動作範囲外の状態で保管されている場合は、使用する前に、ポンプの温度が室温で安定するまでしばらく待ってください。ポンプが-20°C (-4°F) または60°C (140°F) で保管されている場合は、最低8時間必要です。	

輸送と保管	
短期 (最長30日間):	
温度 (周囲)	-20°C~60°C (-4°F~140°F)
相対湿度	0% ~ 95%

輸送と保管	
長期 (30日以上):	
温度 (周囲)	0°C~40°C (32°F~104 °F)
相対湿度	0%~95% (結露なし)
注意 ハイブリッドマットレスシステムの損傷を防ぐには： <ul style="list-style-type: none"> • 直射日光の当たる場所で保管しないでください。 • ポンプとマットレスは付属の保護バッグに入れて保管してください。 • 保管前にポンプとマットレスを洗浄・消毒してください。 	

想定する使用期間	
AtmosAir Velaris ポンプ	7年

廃棄方法	
梱包	段ボール箱、リサイクル可能。
製品	<ul style="list-style-type: none"> • マットレスに使用された繊維材料やその他の繊維、ポリマー、プラスチック材料等は、可燃性廃棄物として分類してください。 • 耐用年数を過ぎたマットレスは、国または地方自治体の法令に従い、廃棄物として処分してください (埋め立て処理、あるいは焼却処理等)。 • ポンプ本体は電気・電子部品を使用しているため、電気・電子機器の廃棄 (WEEE) または地方自治体あるいは国の法令に従って分解し、リサイクルしてください。

使用可能な組合せ	
AtmosAir Velaris Standard	<ul style="list-style-type: none"> • Skin IQ® MCM、カバーのみ • Skin IQ® 365、カバーのみ
AtmosAir Velaris Plus	<ul style="list-style-type: none"> • Skin IQ® 1000、カバーのみ
AtmosAir Velaris Plus Flex	<ul style="list-style-type: none"> • Skin IQ® 1000、カバーのみ

測定値および互換性				
Standard マットレス				
部品番号	寸法 mm (インチ)	トップカバー材質	重量 kg (lb)	Arjo ベッドフレーム
633048	810 x 2000 x 180 (32 x 79 x 7)	Reliant	15 (33)	
633049		Premium		
633020	860 x 1980 x 180 (34 X 78 X 7)	Reliant	15.5 (34)	Contoura 460/480、Minuet 2、Prioma
633026		Premium		
633021	880 x 2020 x 180 (35 X 80 X 7)	Reliant	15.5 (34)	Contoura C880、Enterprise 5000、8000、9000、Citadel
633027		Premium		

測定値および互換性				
633022	880 x 2140 x 180 (35 x 84 x 7)	Reliant	16.5 (36)	Enterprise 5000、8000、 9000 (Extended)、Citadel (Extended)
633028		Premium		
633023	900 x 2000 x 180 (35 x 79 x 7)	Reliant	16,5 (36)	
633029		Premium		
633900	1060 x 1980 x 180 (42 x 78 x 7)	Reliant	16,5 (36)	
633901		Premium		
633024	1070 x 2000 x 180 (42 x 79 x 7)	Reliant	17,5 (39)	
633030		Premium		
Plus マットレス				
部品番号	寸法 mm (インチ)	トップカバー材質	重量 kg (lb)	Arjo ベッドフレーム
633025	1220 x 2140 x 180 (48 x 84 x 7)	Reliant	24 (53)	Citadel Plus
633031		Premium		
Plus Flex マットレス、ボルスター付き				
部品番号	寸法 mm (インチ)	トップカバー材質	重量 kg (lb)	Arjo ベッドフレーム
633902	1220 x 2240 x 180 (48 x 88 x 7)	Reliant	28 (62)	Citadel Plus
633903		Premium		
ST マットレス				
部品番号	寸法 mm (インチ)	トップカバー材質	重量 kg (lb)	Arjo トロリー
633042	670 x 1950 x 130 (26 x 77 x 5)	Reliant	10 (22)	Lifeguard トロリー
633043		Premium		
633044	660 x 1910 x 130 (26 x 75 x 5)	Reliant	9 (20)	
633045		Premium		
633046	762 x 1910 x 130 (30 x 75 x 5)	Reliant	10 (22)	
633047		Premium		
シートクッション				
部品番号	寸法 mm (インチ)	トップカバー材質	重量 kg (lb)	Arjo シート
633016	432 x 432 x 100 (17 x 17 x 4)	Reliant	1.5 (3)	標準サイズ
633018	432 x 432 x 100 (17 x 17 x 4)	Premium	1.5 (3)	標準サイズ
633017	457 x 457 x 100 (18 x 18 x 4)	Reliant	1.5 (3)	Lサイズ
633019	457 x 457 x 100 (18 x 18 x 4)	Premium	1.5 (3)	Lサイズ

トップカバー仕様		
特徴	Reliant カバー	Premium カバー
着脱可能カバー	あり	あり
水蒸気透過性 MVTR - 指数法 BS3424-34	10%	4%
ポリウレタンコーティングには微生物による繊維の劣化を抑制するための抗菌剤が含まれています。	あり	あり
難燃剤 ¹	BS 7175:0、1、5	BS 7175:0、1、5
素材の伸縮特性	4way	4way
推奨洗浄温度	80°C (176°F) 15分	80°C (176°F) 15分
推奨乾燥温度	40°C (104°F) または自然乾燥	40°C (104°F) または自然乾燥
最大乾燥温度	最大80°C (176°F)	最大80°C (176°F)
拭き取り用の薬品 ²	<ul style="list-style-type: none"> 塩素、強度 ≤ 1% (10,000 ppm)、pH 7~9。 四級アンモニウム塩、1920ppm、pH 7~10。 アルコール、濃度70%。 フェノール系溶液は推奨しません/適しません。 <p>消毒後は、必ずきれいな水で十分にすすぎ、乾燥させてから保管してください。アルコールを使用した場合は水ですすぐ必要はありません。</p> <p>また、トップカバーのメーカーは、以下の消毒液を使用できるとみなしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第四級アンモニウム溶液、3-15%、pH 7~10、推奨事項については、使用可能な消毒液ページの33参照してください。 過酸化水素溶液、3~10%、pH 5~9、推奨事項については、使用可能な消毒液 ページ33参照してください。 <p>消毒時間は、必ず消毒液メーカーの指示に従ってください。</p>	
製品寿命	標準	加速劣化試験 (ISO 1419:1995) で2.5倍の延長
耐摩耗性	130,000回	260,000サイクル (最小)

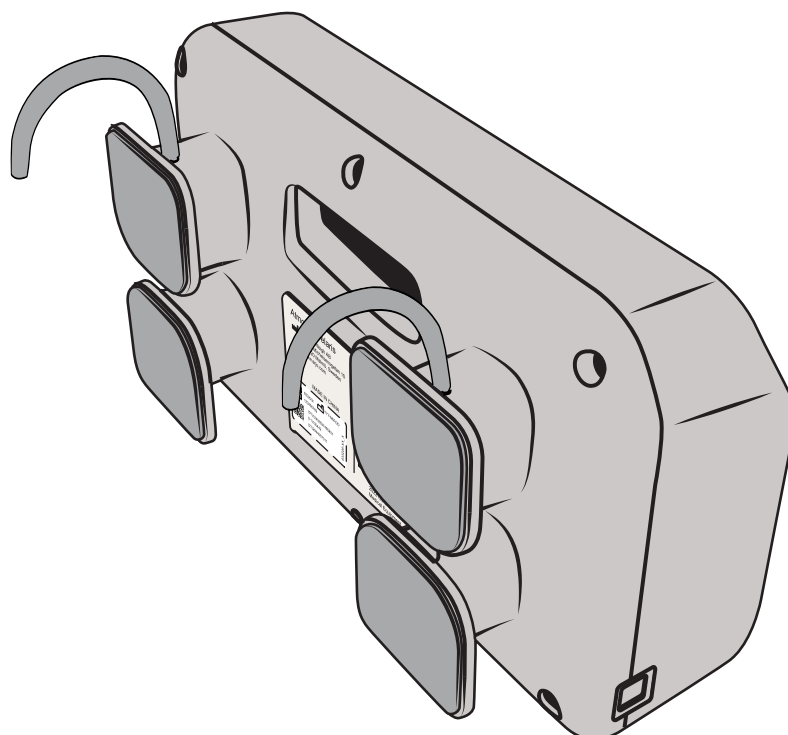
¹追加の可燃性試験基準については、該当する場合、個々の製品法令タグを参照してください。

²塩素濃度は、地方自治体の条例および汚染状態に応じて250 ppm~10,000 ppmのものを使用します。利用できる数種類の消毒液から代替的な消毒液を選択する場合、Arjoは、使用前に化学薬品供給業者に使用の適合性を確認することを推奨します。












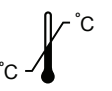
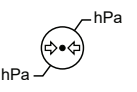


ラベル

ポンプのラベル

ラベルの説明	
製品ラベル	入力電力、入力電圧等の技術的性能および要件が記載されています
シリアル番号ラベル	製品の品番が記載されています



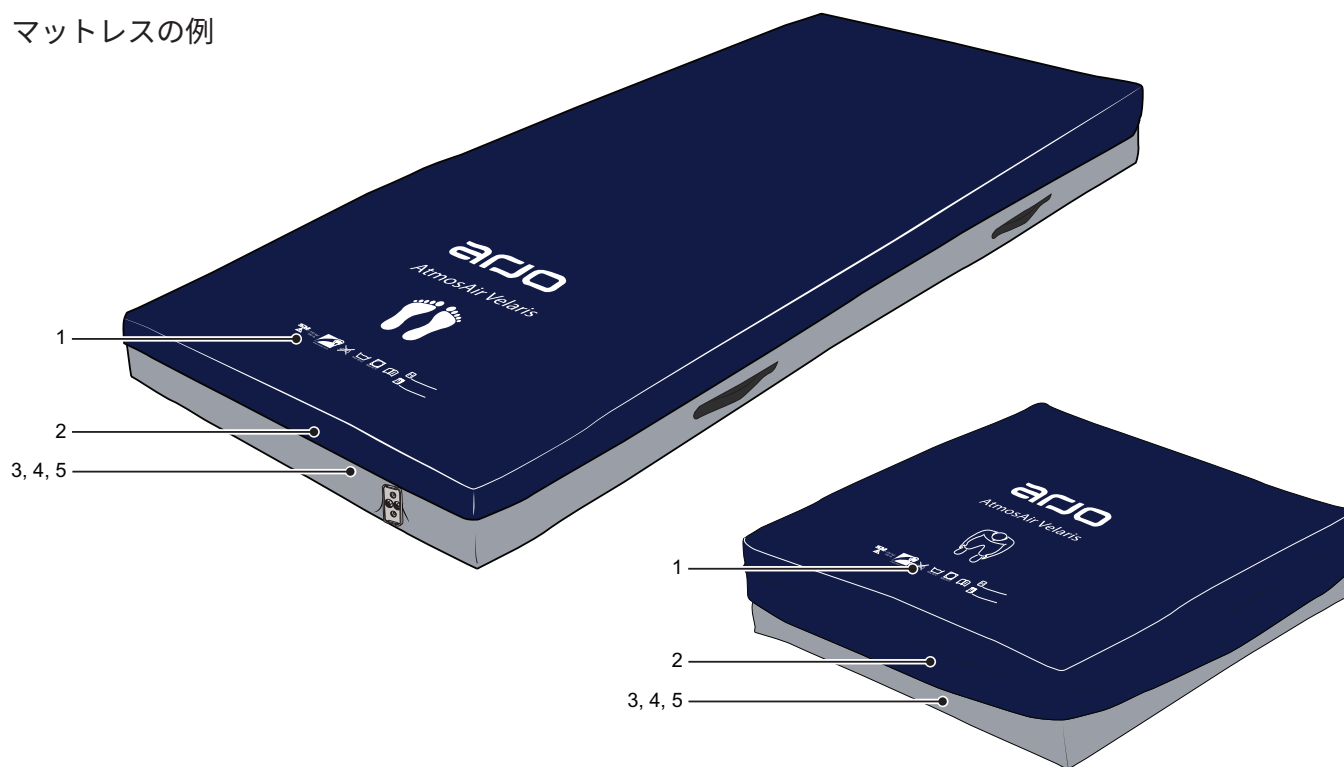
1. 製品ラベル
2. シリアル番号ラベル

記号の説明	
	取扱説明書/冊子を参照してください。使用上の注意をよくお読みください。
	欧州共同体統一法への適合を示すCEマーキングを示します図は、監督認証機関のトレードマークです。
	本製品がEU医療機器規制2017/745に準拠した機器であることを示します。
	感電、火災、および機械的な危険性に関しては必ず次を遵守してください： CAN/CSA C22.2 No. 60601-1:14 + A2:2022 および ANSI/AAMI ES60601-1:2005 & A1:2012 & A2:2021。医療機器
	シリアル番号
	参照番号
	製造元名称と所在地
	製造日
	欧州指令2012/19/EC (WEEE)に基づき、電気及び電子部品を分別してリサイクルしてください。
	タイプ BF、適用部品: IEC 60601-1に基づく感電に対する保護。
	二重絶縁
	温度制限 使用中の製品の温度制限を示します
	大気圧制限 使用中の製品の許容大気圧上下限を示します
	湿度制限 使用中の製品の許容相対湿度上下限を示します
	製品固有識別子 (UDI)

表面上のラベル

ラベルの説明	
トップカバーラベル	トップカバーの識別情報と、最大患者体重が記載されています
マットレスIDラベル	製品の品番と重量が記載されています
法令タグ	燃焼試験の認証が記載されています

マットレスの例



1. シルクスクリーン
2. トップカバーラベル (トップカバーの内側)
3. マットレスIDラベル (ボトムカバーの内側)
4. 米国法令タグ (下部カバー内)
5. カナダ法令タグ (ボトムカバーの内側)

記号の説明	
	操作方法 - 取扱説明書を確認してください。
	欧州共同体統一法への適合を示すCEマーキング。
	本製品がEU医療機器規制2017/745に準拠した機器であることを示します。
	ロット番号
	シリアル番号
	参照番号
	製造元名称と所在地
	製造日
	安全耐荷重は、患者の最大合計荷重 (kg (lb)) を定義します (マットレス)
	安全耐荷重は、患者の最大合計荷重 (kg (lb)) を定義します (シートクッション)
	製品重量 (マットレス)
	推奨洗浄温度:80°C (176°F) で15分
	80°C (176°F) のドラム式乾燥機
	アイロンを使用しないこと
	洗剤を含ませた布で表面を拭き、次に水を湿らせた布で汚れをきれいに拭き取って乾燥させること。
	マットレスが使われている施設と病棟を特定します。
	マットレスが現在のベッドフレームまたはシートに取り付けられた日付。
	製品固有識別子 (UDI)

電磁両立性

ハイブリッドマットレスシステムは、以下に示す電磁環境での使用を意図しています。ハイブリッドマットレスのお客様またはユーザーは、製品が意図された環境下で使用されていることを確認する必要があります。

電磁両立性規格 (EMC)

本品は該当するEMC規格の要件に適合しています。医療用電気機器はEMCに関して特別な注意を必要とし、以下の指示に従って設置する必要があります。

- メーカーによって指定されていない付属品の使用は、製品耐性の減少または製品からの放射増加の原因となることがあります。これは、製品の性能に影響を与えます。
- 携帯型モバイル無線 (RF) 機器 (携帯電話など) は、電気機器に悪影響を及ぼすことがあります。
- この製品を他の電気機器に近接して使用する際は、使用前に機器が正常に動作することを確認する必要があります。

EMCの詳細内容については、Arjoサービス担当者にお問い合わせください。



警告

他の装置の操作に干渉したり安全性に影響を及ぼすため、電気機器を積み重ねたり機器の近くに置いたりすることは推奨しません。携帯/移動型の無線 (RF) 機器は、本機器の動作や安全性に影響を及ぼすことがあります。



警告

本機器は電波障害を起こしたり、近くの機器の動作を妨害することがあります。まわりの機器の再配線、再配置または場所を隔離するなどの措置が必要になることがあります。


製造者からのガイダンス- 電磁放射

ポンプ本体は、以下に示す電磁環境における使用を意図しています。ユーザーは、使用環境を確認する必要があります。

エミッション試験	コンプライアンス	電磁環境 - ガイダンス
RFエミッション	グループ1	ポンプ本体は、RF エネルギーをその内部機能のためにのみ使用します。従って、そのRFエミッションは非常に低いため、近隣の電子機器に何らかの影響を及ぼしにくくなっています。
RFエミッション	クラスB	このポンプは、自宅や、公共の低電圧電源ネットワークに直接接続されている施設など、あらゆる施設での使用に適しています。
高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラスA	
電圧変動/フリッカー エミッション IEC 61000-3-3	準拠	

ガイダンスと製造元宣言 - 電磁環境耐性

ポンプ本体は、以下に示す電磁環境における使用を意図しています。ユーザーは、使用環境を確認する必要があります。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	コンプライアンスレベル	電磁環境 - ガイダンス						
伝導性 RF IEC 61000-4-6	3Vrms 6Vrms ISM、 150kHz~80MHz 80% AM 1kHz	10Vrms 150kHz~2300MHz	<p>携帯型及び移動型の RF 通信機器は、ケーブルを含めてポンプのどの部分からも、送信機の周波数に適用される公式から算出された推奨分離距離以上に離して使用する必要があります。</p> <p>推奨分離距離</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>$d = 1.2\sqrt{P}$</td> <td>150kHz~80MHz</td> </tr> <tr> <td>$d = 1.2\sqrt{P}$</td> <td>80MHz~800MHz</td> </tr> <tr> <td>$d = 2.3\sqrt{P}$</td> <td>800MHz~2.7GHz</td> </tr> </table> <p>ここで、Pは送信機メーカーによるワット (w) 単位の送信機の最大出力電力定格であり、dはメートル (m) 単位の推奨分離距離です。</p> <p>固定RF送信機からのフィールド強度は、電磁サイト調査によって決定されている通り^a、各周波数範囲のコンプライアンスレベルよりも少ない値にしなければなりません。^b</p> <p>以下の記号が付いている機器の近隣で干渉が発生することがあります:</p> 	$d = 1.2\sqrt{P}$	150kHz~80MHz	$d = 1.2\sqrt{P}$	80MHz~800MHz	$d = 2.3\sqrt{P}$	800MHz~2.7GHz
$d = 1.2\sqrt{P}$	150kHz~80MHz								
$d = 1.2\sqrt{P}$	80MHz~800MHz								
$d = 2.3\sqrt{P}$	800MHz~2.7GHz								
放射 RF IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz~2.7 GHz	10 V/m							

注記:80 MHz と 800 MHz では、より高い周波数範囲の分離距離が適用されます。

注記:これらのガイドラインはすべての状況にあてはまるとは限りません。電磁伝搬は構造物、対象物および人体による吸収および反射に影響されます。

^a 無線 (携帯/コードレス) 電話と陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FMラジオ放送及びTV放送のような固定送信機による電界強度は、理論上、正確に予測することは不可能です。固定RF送信機による電磁環境を評価するには、電磁実地調査の実施を検討するようにしてください。ポンプ本体を使用する場所で測定した電界強度が、適用される上記のRF適合性レベルを超えている場合は、ポンプ本体を観察し、正常な動作を確認する必要があります。異常な動作が観察されるときは、ポンプの向きを変えたり、場所を変えるなどの追加措置が必要になることがあります。

^b 150 kHz~80 MHzの周波数範囲外にある場合、電界強度は 3 V/m未満でなければなりません。

携帯/移動型 RF 通信機器とポンプとの推奨分離距離

ポンプ本体は放射 RF の妨害が制御されている電磁環境での使用を目的としています。ポンプの顧客またはユーザーは、携帯型及び移動型の RF 通信機器 (通信機) とポンプとの最小距離を、通信機器の最大出力に基づいて以下に推奨される距離に維持することにより、電磁波障害を防ぐことができます。

通信機の定格最大出力 - W	通信機の周波数に基づく分離距離 - m		
	150 kHz～80 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	80 MHz～800 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	800 MHz～2.7 GHz $d = 2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	2.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記リストにない最大出力電力で定格された送信機の場合、メートル (m) 単位の推奨分離距離 d は、送信機の周波数に適用可能な式を使用して推計できます。ここで、 P は送信機のメーカーによる送信機の最大出力電力定格 (ワット (w)) です。

注記: 80 MHz と 800 MHz では、より高い周波数範囲の分離距離が適用されます。注記: これらのガイドラインはすべての状況にあてはまるとは限りません。電磁伝搬は構造物、対象物および人体による吸収および反射によって影響されます。

ガイダンスと製造元宣言 - 電磁環境耐性

ポンプ本体は、以下に示す電磁環境における使用を意図しています。ユーザーは、使用環境を確認する必要があります。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	コンプライアンスレベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 8 kV 接触 ± 15 kV 空中	± 8 kV 接触 ± 15 kV 空中	床はフローリング、コンクリートあるいはセラミックタイルにしてください。床が合成材で覆われている場合は、相対湿度を30%以上にしてください。
電氣的ファースト・トランジェント/バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV (電源ライン) ± 1 kV 出入カライン用	± 2 kV (電源ライン) 入力/出カラインは適用不可	電源品質は国内の一般的な商業環境あるいは病院環境と同等としてください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 線間	± 1 kV 線間	電源品質は国内の一般的な商業環境あるいは病院環境と同等としてください。
電源入カライン上の電圧降下、中断および電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% μ T (>95% ディップ (μ T))、 0.5サイクル用 40% μ T (60% ディップ (μ T))、 5サイクル用 70% μ T (30% ディップ (μ T))、 25サイクル用 <5% μ T (>95% ディップ (μ T))、 5秒間	<5% μ T (>95% ディップ (μ T))、 0.5サイクル用 40% μ T (60% ディップ (μ T))、 5サイクル用 70% μ T (30% ディップ (μ T))、 25サイクル用 <5% μ T (>95% ディップ (μ T))、 5秒間	電源品質は国内の一般的な商業環境あるいは病院環境と同等としてください。 主電源が遮断された状態でもユーザーが運転継続を必要とする場合は、無電力障害電源装置またはバッテリーからポンプに電力供給することが推奨されます。
電源周波数 (50/60 Hz) 電磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電力周波数磁場は、国内の一般的な商業環境または病院環境における一般的な場所と同じ特性レベルにしてください。

注記: μ T は試験電圧を適用する前の AC 主電源の電圧です。

AUSTRALIA
Arjo Australia
Building B, Level 3
11 Talavera Road
Macquarie Park, NSW, 2113,
Australia
Phone: 1800 072 040

BELGIQUE / BELGIË
Arjo Belgium
Evenbroekveld 16
9420 Erpe-Mere
Phone: +32 (0) 53 60 73 80
Fax: +32 (0) 53 60 73 81
E-mail: info.belgium@arjo.com

BRASIL
Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda
Rua Marina Ciufulli Zanfelice, 329 PB02
Galpão - Lapa
São Paulo – SP – Brasil
CEP: 05040-000
Phone: 55-11-3588-5088
E-mail: vendas.latam@arjo.com
E-mail: servicios.latam@arjo.com

CANADA
Arjo Canada Inc.
90 Matheson Boulevard West
Suite 350
CA-MISSISSAUGA, ON, L5R 3R3
Tel/Tél: +1 (905) 238-7880
Free: +1 (800) 665-4831
Fax: +1 (905) 238-7881
E-mail: info.canada@arjo.com

ČESKÁ REPUBLIKA
Arjo Czech Republic s.r.o.
Na Strži 1702/65
140 00 Praha
Czech Republic
Phone No: +420225092307
E-mail: info.cz@arjo.com

DANMARK
Arjo A/S
Vassingerødvej 52
DK-3540 LYNGE
Tel: +45 49 13 84 86
Fax: +45 49 13 84 87
E-mail: dk_kundeservice@arjo.com

DEUTSCHLAND
Arjo GmbH
Peter-Sander-Strasse 10
DE-55252 MAINZ-KASTEL
Tel: +49 (0) 6134 186 0
Fax: +49 (0) 6134 186 160
E-mail: info-de@arjo.com

ESPAÑA
ARJO IBERIA S.L.
Poligono Can Salvatella
c/ Cabanyes 1-7
08210 Barberà del Valles
Barcelona - Spain
Telefono 1: +34 900 921 850
Telefono 2: +34 931 315 999

FRANCE
Arjo SAS
2 Avenue Alcide de Gasperi
CS 70133
FR-59436 RONCQ CEDEX
Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13
Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14
E-mail: info.france@arjo.com

HONG KONG
Arjo Hong Kong Limited
Room 411-414, 4/F, Manhattan Centre,
8 Kwai Cheong Road, Kwai Chung, N.T.,
HONG KONG
Tel: +852 2960 7600
Fax: +852 2960 1711

ITALIA
Arjo Italia S.p.A.
Via Giacomo Peroni 400-402
IT-00131 ROMA
Tel: +39 (0) 6 87426211
Fax: +39 (0) 6 87426222
E-mail: Italy.promo@arjo.com

MIDDLE EAST
Arjo Middle East FZ-LLC
Office 908, 9th Floor,
HQ Building, North Tower,
Dubai Science Park,
Al Barsha South
P.O. Box 11488, Dubai,
United Arab Emirates
Direct +971 487 48053
Fax +971 487 48072
Email: Info.ME@arjo.com

NEDERLAND
Arjo Nederland BV
Biezenwei 21
4004 MB TIEL
Postbus 6116
4000 HC TIEL
Tel: +31 (0) 344 64 08 00
Fax: +31 (0) 344 64 08 85
E-mail: info.nl@arjo.com

NEW ZEALAND
Arjo Ltd
34 Vestey Drive
Mount Wellington
NZ-AUCKLAND 1060
Tel: +64 (0) 9 573 5344
Free Call: 0800 000 151
Fax: +64 (0) 9 573 5384
E-mail: nz.info@Arjo.com

NORGE
Arjo Norway AS
Olaf Helsets vei 5
N-0694 OSLO
Tel: +47 22 08 00 50
Faks: +47 22 08 00 51
E-mail: no.kundeservice@arjo.com

ÖSTERREICH
Arjo Austria GmbH
Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG
A-1230 Wien
Tel: +43 1 8 66 56
Fax: +43 1 866 56 7000

POLSKA
Arjo Polska Sp. z o.o.
ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2
PL-62-052 KOMORNIKI (Poznań)
Tel: +48 691 119 999
E-mail: arjo@arjo.com

PORTUGAL
Arjo em Portugal
MAQUET Portugal, Lda.
(Distribudor Exclusivo)
Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G
PT-1600-233 Lisboa
Tel: +351 214 189 815
Fax: +351 214 177 413
E-mail: Portugal@arjo.com

SUISSE / SCHWEIZ
Arjo Switzerland AG
Fabrikstrasse 8
Postfach
CH-4614 HÄGENDORF
Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77
Fax: +41 (0) 61 311 97 42

SUOMI
Arjo Scandinavia AB
Riihitontuntie 7 C
02200 Espoo
Finland
Puh: +358 9 6824 1260
E-mail: Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

SVERIGE
Arjo International HQ
Hans Michelsensgatan 10
SE-211 20 MALMÖ
Tel: +46 (0) 10 494 7760
Fax: +46 (0) 10 494 7761
E-mail: kundservice@arjo.com

UNITED KINGDOM
Arjo UK and Ireland
Houghton Hall Park
Houghton Regis
UK-DUNSTABLE LU5 5XF
Tel: +44 (0) 1582 745 700
Fax: +44 (0) 1582 745 745
E-mail: sales.admin@arjo.com

USA
Arjo Inc.
2349 W Lake Street Suite 250
US-Addison, IL 60101
Tel: +1 (630) 307-2756
Free: +1 (800) 323-1245
Fax: +1 (630) 307 6195
E-mail: us.info@arjo.com

JAPAN
Arjo Japan K.K.
東京都港区虎ノ門三丁目7番8号
ランディック第2虎ノ門ビル9階
Tel: +81 (0)3-6435-6401
Fax: +81 (0)3-6435-6402
E-mail: info.japan@arjo.com

At Arjo, we believe that empowering movement within healthcare environments is essential to quality care. Our products and solutions are designed to promote a safe and dignified experience through patient handling, medical beds, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the prevention of pressure injuries and venous thromboembolism. With over 6500 people worldwide and 65 years caring for patients and healthcare professionals, we are committed to driving healthier outcomes for people facing mobility challenges.



ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö, Sweden
www.arjo.com

arjo

CE
2797